

(氏名)

-
- (4) 調査に係る犯罪による被害の実情についての認識、当該犯罪に至った自己の問題性についての認識及び当該犯罪を悔いる気持ちの表れと認められる言動
【評議において 検討を要する】
 - (5) 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - (6) 釈放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - (7) 調査に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及び社会に与えた影響
【評議において 検討を要する】
 - (8) 釈放後の生活環境
【評議において 検討を要する】
 - (9) 悔悟の情及び改善更生の意欲
【評議において 検討を要する】

婦人補導院からの仮退院に係る調査の結果

- 1 婦人補導院における補導の成績
【評議において 検討を要する】
- 2 保護観察に付することの相当性
 - (1) 婦人補導院における補導への取組の状況並びに補導の経過及び効果
【評議において 検討を要する】
 - (2) 婦人補導院の遵守事項に違反する行為の有無及び内容その他の婦人補導院における生活態度
【評議において 検討を要する】
 - (3) 釈放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - (4) 性格、年齢、経歴及び心身の状況
【評議において 検討を要する】
 - (5) 釈放後の生活環境
【評議において 検討を要する】
 - (6) 保護観察において予定される処遇の内容及び効果
【評議において 検討を要する】

-
- (7) 婦人補導院において予定される処遇の内容及び効果
【評議において 検討を要する】
- (8) 調査に係る犯罪を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
- (9) 調査に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及びその社会に与えた影響
【評議において 検討を要する】
-

不定期刑の終了に係る調査の結果

- 1 性格、年齢、経歴及び心身の状況
【評議において 検討を要する】
 - 2 家庭環境及び交友関係
【評議において 検討を要する】
 - 3 刑事施設における矯正処遇への取組の状況並びに矯正処遇の経過及び効果又は少年院における矯正教育への取組の状況並びに矯正教育の経過及び成績の推移
【評議において 検討を要する】
 - 4 反則行為又は紀律に違反する行為の有無及び内容その他の刑事施設又は少年院における生活態度
【評議において 検討を要する】
 - 5 帰住予定地の生活環境
【評議において 検討を要する】
 - 6 粋放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - 7 調査に係る犯罪の被害の実情についての認識、当該犯罪を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - 8 被害者等に対する慰謝の措置の有無及びその内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
 - 9 調査に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及び社会に与えた影響
【評議において 検討を要する】
 - 10 被害者等の感情
【評議において 検討を要する】
-

(氏名)

-
- 11 10に掲げるもののほか、収容期間及び不定期刑の執行を受け終わったものとする決定をするかどうかに関する関係人及び地域社会の住民の感情
【評議において 検討を要する】
- 12 裁判官又は検察官から表明されている意見
【評議において 検討を要する】
-

退院に係る調査の結果

- 1 性格、年齢、経歴及び心身の状況
【評議において 検討を要する】
- 2 家庭環境及び交友関係
【評議において 検討を要する】
- 3 少年院における矯正教育への取組の状況並びに矯正教育の経過及び成績の推移
【評議において 検討を要する】
- 4 紀律に違反する行為の有無及び内容その他の少年院における生活態度
【評議において 検討を要する】
- 5 保護者の監護の意欲及び監護能力
【評議において 検討を要する】
- 6 5に掲げるもののほか、引受人の状況、親族との関係その他の出院後の生活環境
【評議において 検討を要する】
- 7 出院後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無並びに内容
【評議において 検討を要する】
- 8 調査に係る非行の内容、動機及び原因並びに社会に与えた影響
【評議において 検討を要する】
- 9 調査に係る非行の被害の実情についての認識、当該非行を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
- 10 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容
【評議において 検討を要する】
- 11 被害者等の感情
【評議において 検討を要する】

作成日 年 月 日 委員 印

記載要領

- 1 審理の種類に応じ該当する欄を記載し、不要な欄は削除すること。
- 2 調査の結果の項目ごとに、評議において検討すべき問題があるか否かを判断し、検討を要する問題がある場合は、「検討を要する」の□にレ印を付すなどすること。
なお、レ印を付した項目については、評議において検討すべき内容やその前提となる事実等を簡潔に記載すること。
- 3 「少年院からの仮退院に係る調査の結果」の「1 少年院における処遇の段階」欄には、調査の時点における処遇の段階を記載するほか、調査対象者の処遇の段階が1級の上に達していない場合には、その努力による成績の向上に関する事項についても記載すること。
- 4 記載に当たっては、別紙様式5の記載要領12次に掲げる略号を用いて差し支えない。

求 生 活 環 境 調 整 書

年 月 日

保 護 観 察 所 長 殿
(支部・駐在官)

地方更生保護委員会

次の者について、下記のとおり生活環境の調整を求めます。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 本 籍

3 矯正施設名

4 帰住予定地

5 求める調整の内容

現在の帰住予定地又は引受人に関する調整

並行調整

帰住予定地

引 受 人

その他の調整

6 生活環境調整状況通知書提出期限 年 月 日

7 参考事項

(注意) 「5 求める調整の内容」欄には、事例に応じ該当する□にレ印を付すなどし、その具体的な内容を記載すること。

仮釈放等検討結果記録

年 月 日

・地方更生保護委員会

委 員 印

委 員 印

委 員 印

審理対象者

氏 名

(年 月 日生)

矯正施設名

事件番号 () -

仮釈放に係る検討結果

1 悔悟の情 あり なし

(審理に係る犯罪による被害の実情についての認識、当該犯罪に至った自己の問題性についての認識及び当該犯罪を悔いる気持ちの表れと認められる言動)

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

2 改善更生の意欲 あり なし

(1) 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(2) 刑事施設における矯正処遇又は少年院における矯正教育への取組の状況

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(3) 反則行為又は紀律に違反する行為の有無及び内容その他の刑事施設又は少年院における生活態度

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(4) 釈放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(氏名)

3 再び犯罪をするおそれ なし あり

(1) 性格, 年齢, 経歴及び心身の状況
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

(2) 審理に係る犯罪の罪質, 動機, 態様, 結果及び社会に与えた影響
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

(3) 刑事施設における矯正処遇の経過及び効果又は少年院における矯正教育の経過及び成績の推移
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

(4) 釈放後の生活環境
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

(5) 保護観察において予定される処遇の内容及び効果
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

4 保護観察に付すことの相当性 相当 不相当

(1から3までに掲げる事項のほか, 刑事施設又は少年院において予定される処遇の内容及び効果)
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

5 社会の感情 是認する 是認しない

1から4までに掲げる事項のほか,

(1) 被害者等の感情
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定: 問題なし 問題あり

(用紙 日本工業規格A4)

(氏名)

(2) (1)に掲げるもののほか、収容期間及び仮釈放を許すかどうかに関する関係人及び地域社会の住民の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(3) 裁判官又は検察官から表明されている意見

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

6 結論

(1) 仮釈放を 許す 許さない

(2) 釈放すべき日 年 月 日 (刑の執行率 _____ %)

(3) 指定帰住地

少年院からの仮退院に係る検討の結果

1 処遇の段階

(1) 現在の段階

(2) 努力による成績の向上 ((1)が1級の上でない場合) あり なし
ア 成績の向上

イ 審理対象者の努力

2 保護観察に付することの相当性又は必要性 あり なし

(1) 性格、年齢、経歴及び心身の状況

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(2) 審理に係る非行の内容、動機及び原因並びに社会に与えた影響

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(3) 審理に係る非行による被害の実情についての認識、当該非行を悔いる気持ち及び当該非行に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(氏名)

(4) 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(5) 保護者の監護の意欲及び監護能力

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(6) (5)に掲げるもののほか、引受人の状況、親族との関係その他の出院後の生活環境

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(7) 少年院における矯正教育への取組の状況並びに矯正教育の経過及び成績の推移

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(8) 紀律に違反する行為の有無及び内容その他の少年院における生活態度

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(9) 出院後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(10) 保護観察において予定される処遇の内容及び効果

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(11) 少年院において予定される処遇の内容及び効果

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(12) 被害者等の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

3 結論

(1) 少年院からの仮退院を 許す 許さない

(2) 釈放すべき日 年 月 日

(3) 指定帰住地

(氏名)

仮出場に係る検討の結果

1 心身の状況

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

2 収容又は留置の期間

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

3 社会の感情

1, 2及び4に掲げる事項のほか、

(1) 被害者等の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(2) (1)に掲げるもののほか、収容期間及び仮出場を許すかどうかに関する関係人及び地域社会の住民の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(3) 裁判官又は検察官から表明されている意見

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

4 その他

(1) 性格、年齢及び経歴

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(2) 作業への取組姿勢

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(3) 反則行為の有無及び内容その他の刑事施設又は労役場における生活態度

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(4) 審理に係る犯罪による被害の実情についての認識、当該犯罪に至った自己の問題性

についての認識及び当該犯罪を悔いる気持ちの表れと認められる言動

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定： 問題なし 問題あり

(氏名)

-
- (5) 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- (6) 釈放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- (7) 審理に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及び社会に与えた影響
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- (8) 釈放後の生活環境
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

5 結論

- (1) 仮出場を 許す 許さない
(2) 釈放すべき日 年 月 日(刑又は労役場留置の執行率 _____ %)

婦人補導院からの仮退院に係る検討の結果

-
- 1 婦人補導院における補導の成績
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

-
- 2 保護観察に付することの相当性 あり なし

-
- (1) 婦人補導院における補導への取組の状況並びに補導の経過及び効果
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- (2) 婦人補導院の遵守事項に違反する行為の有無及び内容その他の婦人補導院における生活態度
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(氏名)

(3) 釈放後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(4) 性格、年齢、経歴及び心身の状況

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(5) 釈放後の生活環境

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(6) 保護観察において予定される処遇の内容及び効果

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(7) 婦人補導院において予定される処遇の内容及び効果

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(8) 審理に係る犯罪を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(9) 審理に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及びその社会に与えた影響

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

3 結論

(1) 婦人補導院からの仮退院を 許す 許さない

(2) 釈放すべき日 年 月 日

(3) 指定帰住地

不定期刑の終了に係る検討の結果

1 性格、年齢、経歴及び心身の状況

【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

2 家庭環境及び交友関係

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

3 刑事施設における矯正処遇への取組の状況並びに矯正処遇の経過及び効果又は少年院における矯正教育への取組の状況並びに矯正教育の経過及び成績の推移

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

4 反則行為又は紀律に違反する行為の有無及びその内容その他の刑事施設又は少年院における生活態度

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

5 帰住予定地の生活環境

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

6 釈放後の生活の計画の有無及びその内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無並びにその内容

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

7 審理に係る犯罪の被害の実情についての認識、当該犯罪を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

8 被害者等に対する慰謝の措置の有無及びその内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及びその内容

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

9 審理に係る犯罪の罪質、動機、態様、結果及び社会に与えた影響

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

10 被害者等の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

11 10に掲げるもののほか、収容期間及び不定期刑の執行を受け終わったものとする決定をするかどうかに関する関係人及び地域社会の住民の感情

【25条調査時の判断 検討を要する】認定：問題なし 問題あり

(氏名)

- 12 裁判官又は検察官から表明されている意見
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 13 結論
不定期刑の執行を受け終わったものと する しない

退院に係る検討の結果

- 1 性格、年齢、経歴及び心身の状況
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 2 家庭環境及び交友関係
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 3 少年院における矯正教育への取組の状況並びに矯正教育の経過及び成績の推移
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 4 紀律に違反する行為の有無及びその内容その他の少年院における生活態度
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 5 保護者の監護の意欲及び監護能力
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 6 5に掲げるもののほか、引受人の状況、親族との関係その他の出院後の生活環境
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 7 出院後の生活の計画の有無及び内容その他の健全な生活を確保するための行動の有無並びに内容
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

- 8 審理に係る非行の内容、動機及び原因並びに社会に与えた影響
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

(氏名)

9 審理に係るに係る非行の被害の実情についての認識、当該非行を悔いる気持ち及び当該犯罪に至った自己の問題性についての認識の表れと認められる言動の有無及び内容
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

10 被害者等に対する慰謝の措置の有無及び内容並びに当該措置の計画及び準備の有無及び内容
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

11 被害者等の感情
【25条調査時の判断 検討を要する】

認定：問題なし 問題あり

12 結論
退院を 許す 許さない

参考事項

(用紙 日本工業規格A4)

記載要領

- 1 審理の種類に応じ該当する欄を記載し、不要な欄は削除すること。
- 2 各考慮事項ごとに、25条調査時に検討を要する問題があると判断した場合には、「検討を要する」欄にレ印を付すなどして示し、また、評議における評価の結果を「認定：問題なし 問題あり」欄にレ印を付すなどして示すこと。
なお、25条調査時に「検討を要する」と判断した場合及び評議において「問題あり」と評価した場合には、評議における検討結果を簡潔に記載すること。
- 3 「悔悟の情 あり なし」など、仮釈放等の許可基準における考慮要素に関し記載する欄については、評議における評価の結果をレ印を付すなどすること。
なお、考慮事項について「問題あり」と評価したにもかかわらず、仮釈放等の許可基準の考慮要素を満たす評価をした場合には、その理由を同欄に簡潔に記載すること。
- 4 保護観察を実施する上で参考になると思われる事項があれば、「参考事項」欄に記載すること。

仮釈放等許可についての通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

貴職が生活環境の調整を担当している次の者について、別紙のとおり 仮釈放・少年院からの仮退院・婦人補導院からの仮退院 を許す旨の決定があったので、通知します。

なお、釈放後は、貴職に保護観察を担当していただく予定です。

1 氏 名

(年 月 日生)

2 参考事項

(注意事項)

- 1 仮釈放等を許す旨の決定があったことを引受人に連絡し、出迎え等について助言してください。
- 2 仮釈放等を許す旨の決定があったことを本人に漏らさないよう、引受人等に協力を求めてください。
- 3 出迎え又は受入態勢に支障が生じたときは、至急連絡してください。
- 4 保護観察対象者が居住すべき住居に帰住しないときは、引受人等に連絡を取ってその状況を調査するとともに、速やかに事故報告書又は電話等により連絡してください。
- 5

生活環境調整主任官 ()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

仮釈放等審理事件移送書

年 月 日

地方更生保護委員会 殿

地方更生保護委員会

当地方委員会で仮釈放等の審理をしている次の者は、下記のとおり移送されたので、仮釈放等審理事件を移送します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 移送元矯正施設名

3 移送先矯正施設名

4 移送の日 年 月 日

5 仮釈放等の審理を開始した日 年 月 日

6 送付書類

- 身上調査書 (甲)・(乙)・(丙)・(丁)
- 被収容者移送通知書
- 身上変動通知書 (甲)・(乙)
- 生活環境調整状況通知書
- 法定期間経過通告書
- 申告票等
- 仮釈放等調査票 (甲)・(乙)
- その他 ()

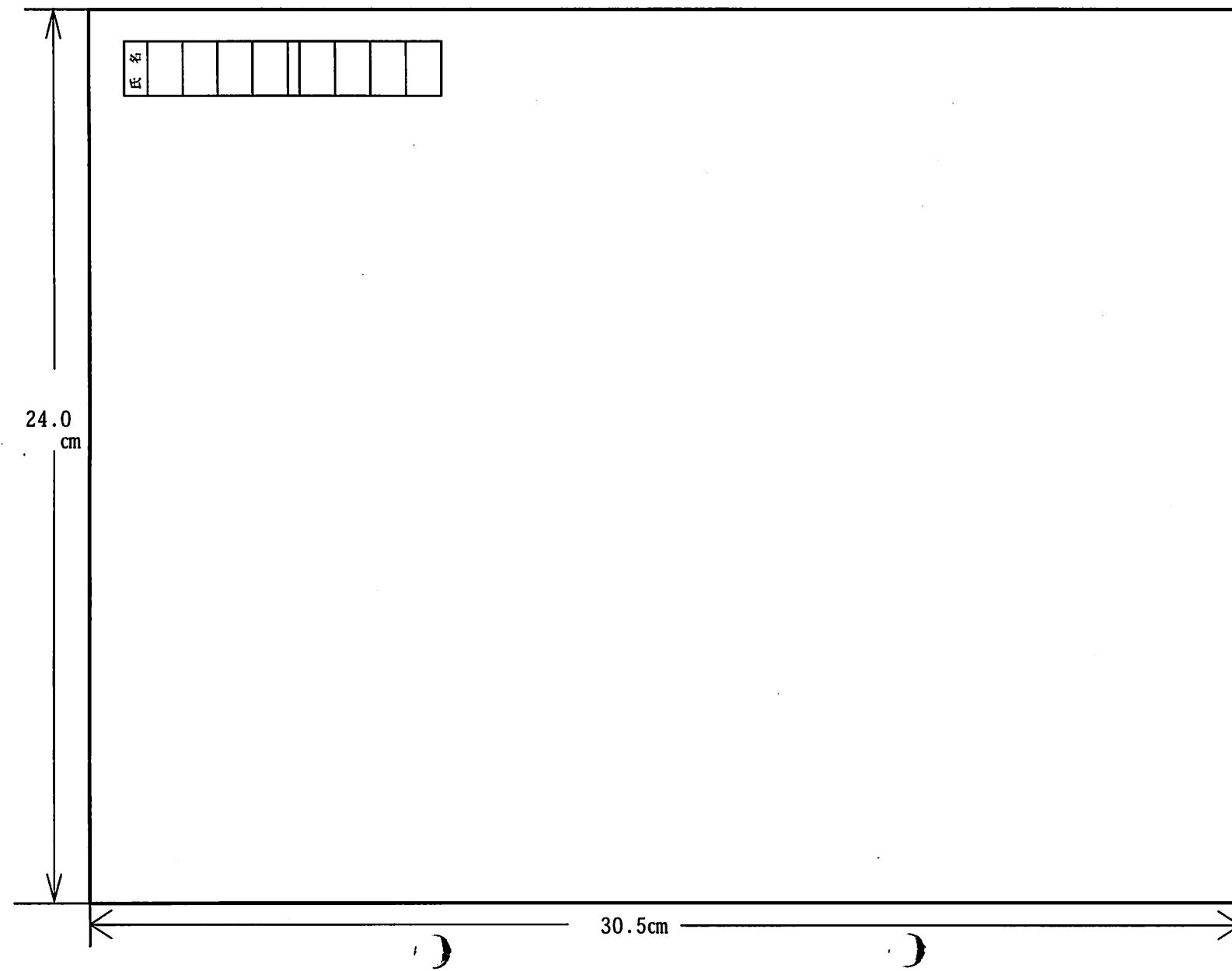
7 参考事項

保護観察事件ホルダー

(外側上)

↑	終結年次 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-collapse: collapse; width: 100px; height: 15px;"></table>										↓																																																																																																																																																											
24.0 cm	<p style="text-align: center;">観</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 20%;">氏名 生年月日</td> <td rowspan="3" style="width: 30%;">年月日 男・女</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">保護観察 期間</td> <td rowspan="3" style="width: 10%;">から まで</td> <td colspan="6" rowspan="3" style="width: 20%; vertical-align: top;">備考</td> </tr> <tr> <td>終結日 終結事由</td> </tr> <tr> <td>前記 件録</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2" style="width: 10%;">序名</th> <th style="width: 15%;">事件番号</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">主任官</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">保護区</th> <th rowspan="2" style="width: 15%;">担当保護司</th> <th colspan="4" style="width: 20%;">開始・担当指名</th> <th colspan="4" style="width: 20%;">終結</th> </tr> <tr> <th>開始・担当指名日</th> <th>所長</th> <th>統括</th> <th>主任官</th> <th>統計</th> <th>入力者</th> <th>所長</th> <th>統括</th> <th>主任官</th> <th>統計</th> <th>入力者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>() -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>() -</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										氏名 生年月日	年月日 男・女	保護観察 期間	から まで	備考						終結日 終結事由	前記 件録	序名	事件番号	主任官	保護区	担当保護司	開始・担当指名				終結				開始・担当指名日	所長	統括	主任官	統計	入力者	所長	統括	主任官	統計	入力者		() -												・												() -												・												() -												・												() -												・												() -												・										
	氏名 生年月日	年月日 男・女	保護観察 期間	から まで	備考																																																																																																																																																																	
																					終結日 終結事由																																																																																																																																																	
											前記 件録																																																																																																																																																											
	序名	事件番号	主任官	保護区	担当保護司	開始・担当指名				終結																																																																																																																																																												
		開始・担当指名日				所長	統括	主任官	統計	入力者	所長	統括	主任官	統計	入力者																																																																																																																																																							
		() -																																																																																																																																																																				
		・																																																																																																																																																																				
		() -																																																																																																																																																																				
	・																																																																																																																																																																					
	() -																																																																																																																																																																					
	・																																																																																																																																																																					
	() -																																																																																																																																																																					
	・																																																																																																																																																																					
	() -																																																																																																																																																																					
	・																																																																																																																																																																					
↑	署名栏 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-collapse: collapse; width: 100px; height: 15px;"></table>										↓																																																																																																																																																											
↑	30.5cm <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-collapse: collapse; width: 100px; height: 15px;"></table>										↓																																																																																																																																																											
↑	留印栏 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle; border-collapse: collapse; width: 100px; height: 15px;"></table>										↓																																																																																																																																																											

(外側下)



別紙様式 1 3

保護観察事件カード

(表)

事件番号	() -			罪名 非行名				仮釈放等施設 決定・着し裁判所	保護観察期 間					
開始日		刑期	名間	(執行猶予年)				決定・呑渡しの日						
ふりがな 氏名 生年月日	年 月 日				保護区	担当保護司		担当期間						
								・	・	~	・	・		
								・	・	~	・	・		
								・	・	~	・	・		
								・	・	~	・	・		
年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	特記事項
年	S													
	A													
	B													
	C													・
年	S													
	A													
	B													
	C													

(裏)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	特記事項
年	S													
	A													
	B													
	C													・
年	S													
	A													
	B													
	C													
終結日				終結事由										
(特別遵守事項の内容)														

(用紙 日本工業規格 A 5)

保護観察事件調査票

事件種別等

作成区分	開始・移送・その他 ()
事件等の区分	号観察 一般・交通・短期
事件番号	() -
保護観察期間	年 月 日から 年 月 日まで

氏名等

ふりがな(通称・別名)	() 年 月 日生)	男・女
氏名		
本籍		
住居		電話 ()
学籍・職業	無職・学生等・有職(職種))

審判又は裁判に関する事項

決定又は言渡し裁判所	裁判所	支部
決定又は言渡しの日	年 月 日	
確定の日	年 月 日	
刑名・刑期	懲役・禁錮	年 月, 執行猶予 年

犯罪又は非行に関する事項

罪名・非行名
犯罪・非行の概要

動機・原因

共犯者の状況

被害者等の心身の状況、生活状況、被害に関する心情、被害者等に対する謝罪・被害弁償又は示談の状況その他参考事項

交友関係

家族その他の関係人の状況・家庭環境・居住地の生活環境

(氏名)

性格・心身の状況等

生活歴又は保護観察開始後の生活状況

就業又は就学状況

勤務先又は学校名

保護観察秘匿の要否

生活の計画、その他参考事項

保護観察の実施計画

課題又は目標

接触の頻度・方法 (処遇段階の別 S A B C)

その他の指導監督の内容・方法

補導援護の内容

その他の措置

参考事項

(処遇の実施において留意すべき指導領域)

交友関係 金銭管理 問題飲酒 薬物乱用 就労・就学関係
 健康状態 居住関係 家族関係

主任官

担当保護司

作成者

年 月 日

保護観察官

印

記載要領

1 保護観察事件調査票について

- (1) 事例に応じ不要の文字を削ること。記載を省略した欄は、削除して差し支えない。
- (2) 保護観察事件調査票作成と同時に、保護観察の実施計画を見直す場合においては、実施計画を見直す理由となった保護観察の実施状況等が明らかになるよう記載すること。
- (3) 「事件種別等」欄
「作成区分」には、事務規程第35条第1項第1号又は同項第2号により保護観察を開始したときは「開始」、保護観察事件の移送を受けたときは「移送」、担当保護司の変更、保護観察の実施計画の変更等をしたときは、「その他（ ）」を○で囲むなどし、その具体的な事由を（ ）内に記載すること。
- (4) 「氏名等」欄
「ふりがな」には、通称・別名がある場合は（ ）内に付記すること。
「学籍・職業」には、無職、学生等（生徒を含む。）、有職の別を○で囲むなどし、有職の場合は（ ）内に職種を記載すること。
- (5) 「犯罪又は非行に関する事項」欄
「被害者等の心身の状況、生活状況、被害に関する心情、被害者等に対する謝罪・被害弁償又は示談の状況その他参考事項」には、被害者（犯罪により被害者が死亡し、又はその心身に重大な故障があることを把握している場合には、その遺族及び法定代理人等を含む。）の氏名・住所・連絡先を記載するほか、「心身の状況」については、通院状況及び精神的被害の状況（犯罪に起因する心的外傷後ストレス障害（PTSD）の発症その他の精神的影響の内容）を、「生活状況」については、就業先又は通学先（今後就業又は通学予定がある場合にはその旨及び当該就業予定先又は通学予定先）及び犯罪がその後の生活に及ぼした支障の内容について知り得る範囲で、それぞれ記載すること。また、「その他参考事項」については、加害者に対する秘匿の要否等について知り得る範囲で記載するほか、加害者に係る再被害防止に係る通報要請の有無を記載すること。
- (6) 「交友関係」欄
保護観察対象者の改善更生に影響があると認められる交友、共犯者との交際、不良集団（暴力団、暴走族、地域不良集団等）との交際等、保護観察実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- (7) 「家族その他の関係人の状況・家庭環境・居住地の生活環境」欄
家族その他の関係人について、住所、氏名、続柄、年齢、職業、性行、家族構成（同居人を含む。）等の必要な事項を記載するほか、生計状況、家族間の折り合い、保護観察対象者の改善更生に対する理解・態度、地域環境等において保護観察実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- (8) 「性格・心身の状況等」欄
各種心理テストの結果、専門家の診断及び面接によって判明した性格上の問題点、知的障害、精神障害、現在の健康状態、シンナー・覚せい剤等規制薬物使用状況等において、保護観察実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- (9) 「生活歴又は保護観察開始後の生活状況」欄
「開始」の場合は、保護観察対象者の生育歴、教育歴、職業歴、非行・犯罪・処分歴等の生活歴（取得した資格、運転免許等のほか、交通事件の場合は、交通事件違反歴及び本件による行政処分の状況を含む。）を、「移送」、「その他」の場合は、保護観察開始後の生活状況や保護観察の実施状況等を、簡潔に記載すること。
- (10) 「生活の計画、その他参考事項」欄
就業又は就学に関する希望・見通し等今後の生活計画のほか、保護観察実施上問題となる事項や保護観察対象者の改善更生に影響があると認められる事項を、簡潔に記載すること。
- (11) 「審判又は裁判に関する事項」及び「犯罪又は非行に関する事項」欄
保護観察処分少年及び保護観察付執行猶予者の「開始」の場合のみ記載すること。

2 保護観察の実施計画について

(1) 「課題又は目標」欄

指導監督及び補導援護を行うことにより改善を図ろうとする課題又は達成しようとする目標を記載すること。

(2) 「その他の指導監督の内容・方法」欄

保護観察対象者に対し書面による報告又は資料の提示を定期的に求める場合の内容及び方

法、専門的処遇を実施する場合の内容及び方法、その他指導監督の内容等を記載すること。

(3) 「その他の措置」欄

更生保護法第59条に規定する保護者に対する措置として必要と認められるものの内容その他保護観察対象者の改善更生を図るために必要があると認める措置の内容について記載すること。

保 護 観 察 の 実 施 計 画

保護観察対象者の氏名 (年 月 日生)

1 課題又は目標

2 接触の頻度・方法 (処遇段階の別 S A B C)

3 その他の指導監督の内容・方法

4 補導援護の内容

5 その他の措置

参考事項

(処遇の実施において留意すべき指導領域)

交友関係 金銭管理 問題飲酒 薬物乱用 就労・就学関係
 健康状態 居住関係 家族関係

主任官

担当保護司

作成者

年 月

日

保護観察官

印

記載要領

- 1 「1 課題又は目標」欄には、指導監督及び補導援護を行うことにより改善を図ろうとする課題又は達成しようとする目標を記載すること。
- 2 「2 接触の頻度及び方法」欄には、保護観察対象者との接触の頻度及び方法を記載すること。
- 3 「3 その他の指導監督の内容・方法」欄には、保護観察対象者に対し書面による報告又は資料の提示を定期的に求める場合の内容及び方法、専門的処遇を実施する場合の内容及び方法、その他指導監督の内容等を記載すること。
- 4 「5 その他の措置」欄には、更生保護法第59条に規定する保護者に対する措置として必要と認められるものの内容その他保護観察対象者の改善更生に資するため必要があると認める措置の内容について記載すること。
- 5 保護観察の実施計画を見直した場合は、実施計画を見直す理由となった保護観察の実施状況等を「参考事項」欄に記載すること。

別紙様式 1 6

担当保護司別カード（甲）

(表)

(三)

保護観察担当通知書

年 月 日

保護司

殿

保護観察所長

次の者に対する保護観察を貴職に担当していただくこととしましたので、通知します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 連絡事項

(注意事項)

- 速やかに保護観察対象者に面接してください。
- 月ごとに、保護観察対象者に対して行った指導監督及び補導援護の内容、保護観察対象者の遵守事項の遵守の状況並びに生活及び行動の状況等を保護観察経過報告書に記載してください。
- 毎月の保護観察経過報告書は、翌月 5 日までに提出してください。
- 保護観察対象者について事故（無断転居、所在不明、犯罪又は非行等に結び付くおそれのある行動、遵守事項を遵守しなかったこと等）が生じた場合には、直ちに事故報告書又は電話等で報告してください。
- 保護観察が終了したときは、関係書類を返還してください。
なお、保護観察期間が満了すると保護観察は終了しますが、担当終了の通知書は送付されませんので、御承知おきください。

主任官 ()

別紙様式 18

提出年月日	保護区	担当保護司
年 月 日		印

保護觀察經過報告書（甲）

(1) (年 月分)

(2)

(氏名)

遵守事項について			
遵守事項を <input type="checkbox"/> 守っている <input type="checkbox"/> 守っていない (守っていない場合の具体的状況)			
保護観察対象者の生活及び行動の状況			
留意すべき指導領域	状況		
<input type="checkbox"/> 交友関係	(友人の氏名、交友状況等)		
<input type="checkbox"/> 金銭管理	(借金・ローン、浪費等の状況)		
<input type="checkbox"/> 問題飲酒			
<input type="checkbox"/> 薬物乱用			
<input type="checkbox"/> 就労・就学関係	(学校名、学年)	<input type="checkbox"/> 欠席なし <input type="checkbox"/> 時々欠席 <input type="checkbox"/> 長期欠席	
	(勤務先名)	(職種)	<input type="checkbox"/> 不就業
	(所在地)	(電話)	
	(稼働日数)	日／月	(収入) 円／日・月
	<input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 住込 <input type="checkbox"/> 家業 (保護観察秘匿の要否) <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否		
<input type="checkbox"/> 健康状態	<input type="checkbox"/> 壮健 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 疾病 (病名・病状)		
	(通院、入院、服薬等の状況)		
<input type="checkbox"/> 居住関係	<input type="checkbox"/> 単身 <input type="checkbox"/> () と同居		
	(特記事項)		
<input type="checkbox"/> 家族関係	(家族間の折り合い)	(不和の状況)	
	<input type="checkbox"/> 和 <input type="checkbox"/> やや不和 <input type="checkbox"/> 不和	(保護観察に対する家族の理解、態度) <input type="checkbox"/> 協力的 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 無関心 <input type="checkbox"/> 拒否的	
担当保護司の意見 (主任官に求める措置及び担当保護司としての今後の方針など)			

(3)

主任官所見 (今後の措置) や方針など			
保護観察の 状況及び 処遇段階	再犯・再非行	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり → 不良措置検討票
	遵守事項違反	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり → 不良措置検討票
	生活行動指針からの逸脱	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> あり
	今月で【 】段階 () 月経過 (C段階3月) → 良好措置検討票		
保護観察所 長の判断 及びとるべき 措置	特別遵守事項	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し	
	生活行動指針	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し	
	段階変更	<input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要	→ 変更後の段階【 】
	指導監督、補導援護その他の措置 ()		
	(上記判断及び措置の理由等)		

(注意) 1 この報告書は、翌月5日までに必ず提出してください。

2 (3) 欄は、保護観察所が記載する欄です。

(用紙 日本工業規格A4)

記載要領

- 1 事例に応じ該当する□にレ印を付すこと。
- 2 この報告書の作成に当たっては、保護観察対象者、引受人等との面接の記録その他の資料を整理補充して、できるだけ具体的に記載すること。
- 3 「保護観察の経過」欄について
 - (1) 「日(時)」欄には、保護観察対象者と面接等をした日付けのほか、電話等により保護観察対象者と接触をした時刻又は面接をした場合の面接開始時刻及び終了時刻を()書きで記載すること。
 - (2) 「接触の状況及び面接の内容等」欄は、時系列で記載すること。
 - (3) 「呼出し等の概要」欄については、保護観察対象者に対して行った次回以降の面接の呼出しについて、口頭、書面、電話その他の呼出しの手段の別及び面接の日時、場所等について記載すること。
- 4 「遵守事項について」欄について
遵守事項を守っていない場合は、守っていない遵守事項及び遵守事項を守っていないと認められる保護観察対象者の具体的な行動等について記載すること。
- 5 「保護観察対象者の生活及び行動の状況」欄について
 - (1) 「留意すべき指導領域」欄の□には、保護観察の実施計画記載の「処遇の実施において留意すべき指導領域」にレ印を付し、当該指導領域については、その後特にその状況把握に配慮すること。
 - (2) 「状況」欄には、各指導領域ごとに、生活及び行動の状況をできる限り具体的に記載すること。ただし、「留意すべき指導領域」の□にレ印を付していない指導領域については、「特段の問題なし」、「前月から変更なし」等の簡略な記載にすることとして差し支えない。
 - (3) 「問題飲酒」欄には、飲酒による粗暴な言動があったこと、酩酊し警察に保護されたこと、アルコールにより健康を害していること等について、その具体的な状況及び日常の飲酒の状況について記載すること。
 - (4) 「薬物乱用」欄には、密売人や薬物常用者との接触、注射器等薬物使用に供する物品の所持、特異な言動その他の規制薬物使用が疑われる生活の実態又は行動が認められるかどうかについて、具体的に記載すること。
 - (5) 「居住関係」欄には、保護観察対象者が家族と同居している場合は、その状況が明らかとなるように記載すること。「特記事項」は、外泊が多いこと、不在がちであることその他特に記載すべき事項がある場合に記載すること。
 - (6) 「担当保護司の意見」欄において記載する「主任官に求める措置」には、保護観察処分少年に対する保護観察の解除等の良好措置、保護観察処分少年に対する警告等の不良措置、主任官による面接等求める措置の具体的な内容を記載すること。
- 6 「保護観察所長の判断及びとるべき措置」欄について
再犯・再非行又は遵守事項の違反を認めて「あり」の□にレ印を付した場合であっても、不良措置検討票においてとるべき措置について記載したときは、「保護観察所長の判断及びとるべき措置」欄については記載を省略して差し支えない。

別紙様式19

	提出年月日	担当保護司
	年 月 日	印

保護観察経過報告書(乙) (年 月分)

事件番号	() -	保護観察 期間	年 月 日から 年 月 日まで
氏名			
保護観察の経過等	下記委託措置実施報告書記載のとおり		
遵守事項について	遵守事項を <input type="checkbox"/> 守っている <input type="checkbox"/> 守っていない (遵守事項を守っていない場合の具体的な状況)		
保護観察所記入欄	保護観察の状況及び処遇段階	再犯・再非行 遵守事項違反 生活行動指針からの逸脱 今月で【 】段階 () 月経過 (C段階3月) → 良好措置検討票	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり → 不良措置検討票 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり → 不良措置検討票 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり
	保護観察所長の判断とるべき措置	特別遵守事項 生活行動指針 段階変更 指導監督、補導援護その他の措置 (上記判断及び措置の理由等)	<input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し <input type="checkbox"/> 設定 <input type="checkbox"/> 変更 <input type="checkbox"/> 取消し <input type="checkbox"/> 不要 <input type="checkbox"/> 要 → 変更後の段階【 】

委託措置実施報告書

受託者

印

委託を受けた内容	補導援護(一般)	食事付宿泊の供与	宿泊の供与	
	日間 (. . . ~ . . .)	日間 (. . . ~ . . .)	日間 (. . . ~ . . .)	
当月の実施内容	日間 補導援護(一般)の状況は別記のとおり	日間 (. . . ~ . . .)	日間 (. . . ~ . . .)	
その他実施した措置の内容				
当月中の状況又は当月中の委託終了時までの状況				
就業状況	<input type="checkbox"/> 定職 <input type="checkbox"/> 暫定 <input type="checkbox"/> 失業 <input type="checkbox"/> 不就業	職種		
	勤務先	電話 ()		
	保護観察秘匿の要否	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	就業態度	<input type="checkbox"/> 勤勉 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 怠惰
	稼働日数	日	収入	円
健康状況	<input type="checkbox"/> 壮健 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 疾病 <input type="checkbox"/> 高齢等により稼動困難			
その他の行状等				
交友関係及び余暇の過ごし方				
自立への準備の状況				
退去予定先			本人との続柄	
退去予定先の調整状況				
受託者の意見等	(保護観察所に求める措置) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有			
	(受託者としての今後の方針)			

(年 月分)

氏名 ()

(注意) この報告書は、翌月 5 日までに必ず提出してください。ただし、委託を終了した場合にあっては、委託終了後速やかに提出してください。

(用紙 日本工業規格 A4)

記載要領

- 1 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。
 - 2 「遵守事項について」欄及び保護観察所記入欄は、保護観察経過報告書（甲）（別紙様式18）の記載要領に準じて記載すること。
 - 3 「委託を受けた内容」欄以下の欄については、委託措置実施報告書（事務規程様式第48号）の記載要領により記載すること。

別紙様式20

	提出年月日	保護区	担当保護司
	年 月 日		印

事故報告書

氏名			
事故の種別	<input type="checkbox"/> 無断転居 <input type="checkbox"/> 再犯・再非行 <input type="checkbox"/> 身柄拘束 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 無断旅行 <input type="checkbox"/> 遵守事項違反 <input type="checkbox"/> 死亡	<input type="checkbox"/> 所在不明
事故が生じた日	年 月 日		
担当保護司が事故の発生を知った日	年 月 日		
保護観察対象者が現在する場所			
事故の概要と前後の事情	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
担当保護司のとった措置と意見	<hr/> <hr/>		
※主任官の判断とるべき措置	<hr/> <hr/>		

- (注意) 1 一般遵守事項に係る軽微な違反については、本報告書の提出は不要です。
- 2 「事故の種別」欄は、該当する□にレ印を付すなどしてください。
- 3 「保護観察対象者が現在する場所」欄には、警察署等に身柄拘束されている場合及び無断転居した場合には現在いる場所を、現在いる場所が不明の場合には「不明」と、その他の場合には事例に応じて現在いる場所を「自宅」等と記載してください。
- 4 「事故の概要と前後の事情」欄には、以下の事項を分かる範囲で記載してください。
- (1) 無断転居又は無断旅行の場合には、それらに至った具体的な事情と(推定)行先
 - (2) 遵守事項違反については、その具体的な内容
 - (3) その他については、重病、重症、災害、交通事故などその具体的な状況
- 5 ※印欄は、保護観察所が記載する欄です。

遭遇経過記録

()

(氏名)

)

年月日 (時刻)	経過記録	取扱者	決裁
	（記録欄：20行用）		

(用紙 日本工業規格 A 4)

記載要領

- 1 複数枚作成する場合には、「年月日」欄の上の（ ）内に番号を付して、その順番を明らかにすること。
- 2 「経過記録」欄には、初めに「面接」、「電話」、「文書」、「協議」など接触等の態様を記載し、次行から、保護観察対象者との面接状況、担当保護司との処遇協議の要旨、関係機関等との連絡状況、措置の内容を簡潔に記載すること。
- 3 接触等の態様が「面接」、「電話」及び「協議」の場合には、「年月日」欄に時刻も記入すること。
- 4 接触等の態様ごとに、「年月日」欄、「取扱者」欄及び「決裁」欄に罫線を引くなどして、次の事項と区別できるようにすること。

面接票

保護観察所

面接日時・場所： 年 月 日 時 分～， 庁内・庁外 ()

保護観察対象者：

被面接者：

面接者：保護観察官

印

(面接の目的・態様，面接状況，措置等)

(用紙 日本工業規格 A 4)

記載要領

- 「被面接者」欄は、被面接者が保護観察対象者である場合は「本人」と記載し、保護観察対象者以外の者（同伴者を含む。）の場合は、氏名及び保護観察対象者との関係を記載すること。
- 「(面接の目的・態様，面接状況，措置等)」欄は、面接の目的及び態様（任意，呼出し，出頭命令又は往訪）を簡潔に記載した上で、被面接者の発言要旨，面接者の発言要旨，所見，措置の内容を記載すること。
- この面接票を担当保護司に送付するときは、担当保護司への連絡事項等も「(面接の目的・態様，面接状況，措置等)」欄に適宜記載して差し支えない。
- 保護観察官が、生活環境調整事件その他の事件の対象者等と面接を行った場合には、「保護観察対象者」を適宜修正して作成すること。

所在調査依頼書

年 月 日

保護司

殿

保護観察所長

次の者について、下記の事項に留意の上所在調査を行い、月 日まで、その結果を所在調査結果報告書に記載して報告願います。

1 氏名等

ふりがな(通称・別名)

氏名 (年 月 日生) 男・女

居住すべき住居

事件等の区分 号観察 一般・交通・短期

保護観察期間 年 月 日から 年 月 日まで

2 所在調査を求める場所等

住所等

電話 ()

調査先の状況(住居の状況及び居住者等)

調査が必要な事情

調査に当たっての留意事項、保護観察の秘匿の有無等

3 保護観察の状況、所在不明となった経緯及び所在調査の経過

4 参考事項

保護観察停止の有無 無・有(年 月 日効力発生)

取扱者()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。保護観察事件調査票等の関係資料を添付する場合には、保護観察期間等、不要の事項を削除して差し支えない。

担当保護司別カード(乙)

(表)

生 共	保護 司	事件番号	氏名	担当通知日	刑期 期間 終了日	嘱託・ 共助内容	担当終了日	備考
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	
生 共 -				・・	・・		・・	

↑ 1.3cm ↓

14.8cm

← 21.0cm →

(裏)

事件番号	氏名	担当通知日	刑期 期間 終了日	嘱託・ 共助内容	担当終了日	備考
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	
生 共 -		・・	・・		・・	

所在調査結果報告書

年 月 日

保護観察所長 殿

保護区 保護司 印

次の保護観察対象者の所在調査の結果は下記のとおりです。

1 氏名 _____ (年 月 日生)

2 所在調査をした場所

3 所在調査の結果

- 現在上記の場所にいる。
- 現在上記の場所にいるかいないか確認できない。
- 現在上記の場所にはいない。 →
 - 現在の居場所はわからない。
 - 現在は次の場所にいる。

(推定) 現在の居場所 _____

4 所在調査をした状況

(対象者との面接) 有 無 (面接した日) 年 月 日

(調査の具体的な状況)

5 所在判明につながる情報、今後の転居等の見通しその他参考となる事項

(注意) 1 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどしてください。

2 人名、地名等で特殊な読み方をするものについては、ふりがなを付してください。

(用紙 日本工業規格 A4)

別紙様式 2 6

	提出年月日	保護区	担当保護司
	年 月 日		印

所在調査経過報告書

(年 月分)

氏名				保護観察停止の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
今月の引受人等 との連絡回数等	往 訪	来 訪	往 信	来 信
	回	回	回	回
日	所在調査の状況（所在調査先、調査の結果、保護観察対象者からの連絡の状況等を具体的に記載すること。）			

担当保護司の 意見その他	-----			
参考事項	-----			
※ 主任官の判断と とするべき措置	-----			

(注意) 1 保護観察対象者の所在が明らかになった場合には、電話等により、速やかに保護観察所に連絡してください。

2 ※印欄は、保護観察所が記載する欄です。

嘱託による所在調査依頼書

年 月 日

保護司

殿

保護観察所長

下記所在調査嘱託書の記載事項に留意の上所在調査を行い、月 日までにその結果を所在調査結果報告書に記載して報告願います。

(連絡事項)

取扱者()

所在調査嘱託書

年 月 日

保護観察所長殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

次の者の所在調査を嘱託します。

1 氏名等

ふりがな(通称・別名)

氏名

(年 月 日生) 男・女

居住すべき住居

事件等の区分

号観察 一般・交通・短期

保護観察期間

年 月 日から 年 月 日まで

2 所在調査を求める場所等

住所等

電話()

調査先の状況(住居の状況及び居住者等)

調査が必要な事情

調査に当たっての留意事項・保護観察の秘匿の有無等

3 保護観察の状況、所在不明となった経緯及び所在調査の経過

4 参考事項

保護観察停止の有無 無・有(年 月 日効力発生)

取扱者()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。保護観察事件調査票等の関係資料を添付する場合には、保護観察期間等、不要の事項を削除して差し支えない。

嘱託を受けた所在調査実施結果報告書

年 月 日

保護観察所長 殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

嘱託を受けた所在調査の結果等を下記のとおり報告します。

なお、移送に関する意見は次のとおりです。

- 1 移送相当 2 移送不相当 3 更に調査の上報告する

所在調査結果報告書

年 月 日

保護観察所長 殿

保護区 保護司 印

次の保護観察対象者の所在調査の結果は下記のとおりです。

1 氏名 _____ (年 月 日生)
2 所在調査をした場所

3 所在調査の結果

- 現在上記の場所にいる。
現在上記の場所にいるかいないか確認できない。
現在上記の場所にはいない。 →

<input type="checkbox"/> 現在の居場所はわからない。
<input type="checkbox"/> 現在は次の場所にいる。

(推定) 現在の居場所

4 所在調査をした状況
(対象者との面接) 有 無 (面接した日) 年 月 日
(調査の具体的な状況)

5 所在判明につながる情報、今後の転居等の見通しその他参考となる事項

- (注意) 1 事例に応じ該当する□に印を付すなどしてください。
2 人名、地名等で特殊な読み方をするものについては、ふりがなを付してください。

所在確認通知書

年 月 日

保護観察所長 殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

貴庁に保護観察事件が係属している次の者が、当庁管轄区域内に所在していることを確認したので、通知します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 確認した住居又は現在地

3 確認した日 年 月 日

4 確認した状況

5 参考事項

別紙様式 30

保 護 觀 察 事 件 移 送 書

年 月 日

保 護 觀 察 所 長 殿
(支部・駐在官)

保 護 觀 察 所 長

貴庁の管轄区域内に 居住・所在 していることを確認した次の者の保護観察事件を移送します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 確認した住居又は現在地

3 参考事項

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

共助依頼書

年 月 日

保護観察所長殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

次の者について必要があるので、下記の措置の共助を依頼します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 共助を依頼する措置

- 旅行中の保護観察対象者の指導監督及び補導援護
- 応急の救護
- 引致状の執行
- 保護者に対する措置
- その他 ()

3 共助を依頼する措置の具体的な内容

4 参考事項

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すこと。

共助結果報告書

年 月 日

保護観察所長 殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

措置の共助の依頼を受けた次の者について、その結果を下記のとおり報告します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 措置の共助の依頼日 年 月 日

3 措置の結果等

- 措置を終了した
- 措置をとることができなかった

4 措置の実施状況又は措置をとることができなかった理由

5 参考事項

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。

(用紙 日本工業規格 A4)

転居又は旅行先に関する調査依頼書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

次の保護観察対象者が、転居又は旅行を予定しているので、下記の事項に留意の上、転居後の住居又は旅行先に関する調査を行い、月 日までにその結果を転居又は旅行先に関する調査結果報告書に記載して報告願います。

1 氏名等

ふりがな(通称・別名)

氏 名	(年	月	日生)	男・女
居住すべき住居	号観察	一般・交通・短期			
事件等の区分	年	月	日から	年	月
保護観察期間					日まで

2 調査を求める場所等

転居後の住居又は旅行先の住所等

電話 ()

転居後の住居又は旅行先の状況(住居の形態及び居住者等)

調査に当たっての留意事項(連絡先、連絡方法、保護観察の秘匿の有無等)

3 転居又は旅行の許可の申請に関する事項

転居の日又は旅行の期間	年	月	日～	年	月	日
転居の理由又は旅行の目的						

4 保護観察の状況

5 参考事項

取扱者()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。保護観察事件調査票等の関係資料を添付する場合には、保護観察期間等、不要の事項を削除して差し支えない。

(用紙 日本工業規格 A 4)

転居又は旅行先に関する調査結果報告書

年 月 日

保護観察所長 殿

----- 保護区 保護司 ----- 印

次の保護観察対象者の転居後の住居又は旅行先に関する調査の結果は下記のとおりです。

1 氏名 ----- (年 月 日生)

2 転居後の住居又は旅行先の調査をした住所

3 転居後の住居又は旅行先の生活環境等

(住居等の状況) -----

(居住者等の状況) -----

(周辺の環境) -----

4 転居後の住居又は旅行先の調査をした状況

(居住者等との接触の有無) 有 無 (接觸の年月日) 年 月 日

5 参考事項

(注意) 1 事例に応じ該当する□にレ印を付してください。

2 人名、地名等で特殊な読み方をするものについては、ふりがなを付してください。

(用紙 日本工業規格 A 4)

別紙様式 35

嘱託による転居又は旅行先に関する調査依頼書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

次の保護観察対象者が、転居又は旅行を予定しているので、下記転居又は旅行先に関する調査嘱託書の記載事項に留意の上調査を行い、月 日までにその結果を転居又は旅行先に関する調査結果報告書に記載して報告願います。

(連絡事項)

取 扱 者 ()

転居又は旅行先に関する調査嘱託書

年 月 日

保 護 観 察 所 長 殿
(支部・駐在官)

保 護 観 察 所 長

次の者の転居後の住居又は旅行先に関する調査を嘱託します。

1 氏名等

ふりがな(通称・別名)

氏 名

(年 月 日生) 男・女

居住すべき住居

事件等の区分

号観察 一般・交通・短期

保護観察期間

年 月 日から 年 月 日まで

2 調査を求める場所等

転居後の住居又は旅行先の住所等

電話 ()

転居後の住居又は旅行先の状況(住居等の状況及び居住者等)

調査に当たっての留意事項(連絡先、連絡方法、保護観察の秘匿の有無等)

3 転居又は旅行の許可の申請に関する事項

転居の日又は旅行の期間 年 月 日～ 年 月 日

転居の理由又は旅行の目的

4 保護観察の状況

5 参考事項

取 扱 者 ()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。保護観察事件調査票等の関係資料を添付する場合には、保護観察期間等、不要の事項を削除して差し支えない。

(用紙 日本工業規格 A4)

嘱託を受けた転居又は旅行先に関する調査実施結果報告書

年 月 日

保 護 観 察 所 長 殿
(支部・駐在官)

保 護 観 察 所 長

嘱託を受けた転居後の住居又は旅行先に関する調査の結果等を下記のとおり報告します。
なお、転居又は旅行の許可に関する意見は次のとおりです。

- 1 許可相当 2 許可不相当

転居又は旅行先に関する調査結果報告書

年 月 日

保 護 観 察 所 長 殿

保護区 保護司

印

次の保護観察対象者の転居後の住居又は旅行先に関する調査の結果は下記のとおりです。

1 氏 名 _____ (年 月 日生)
2 転居後の住居又は旅行先の調査をした住所

3 転居後の住居又は旅行先の生活環境等

(住居等の状況)

(居住者等の状況)

(周辺の環境)

4 転居後の住居又は旅行先の調査をした状況

(居住者等との接触の有無) 有 無 (接觸の年月日) 年 月 日

5 参考事項

(注意) 1 事例に応じ該当する□にレ印を付してください。

2 人名、地名等で特殊な読み方をするものについては、ふりがなを付してください。

転居許可に関する通知書

年 月 日

保護観察所長殿
(支部・駐在官)

保護観察所長

当庁で保護観察を実施している次の者について、下記のとおり貴庁の管轄区域内への転居を許可したので通知します。

1 氏名等

(ふりがな)

氏名

(年 月 日生) 男・女

事件等の区分

号観察

一般・交通・短期

保護観察期間

年

月

日から

年

月

日まで

2 転居後の住居

3 転居の日

年 月 日

4 保護観察対象者の連絡先・連絡方法

5 貴庁への出頭を指示した日時

年 月 日午 時 分

6 共助を依頼する措置の具体的な内容

出頭時における面接の実施

その他 ()

7 参考事項（保護観察の状況等）

- (注意) 1 事例に応じ不要の文字を削ること。保護観察事件調査票等の関係資料を添付する場合には、保護観察期間等不要の事項を削除して差し支えない。
- 2 先に「転居又は旅行先に関する調査嘱託書」により調査を嘱託し、保護観察の状況について既に連絡している場合には、「7 参考事項（保護観察の状況等）」欄の保護観察の状況については、重ねて記載することを要しない。

補導援護・救護事件票

- 1 氏名 (年 月 日生)
- 2 住居
- 3 保護観察期間 年 月 日 ~ 年 月 日
- 4 親族等の状況
- 5 保護観察対象者の経歴、心身の状況等
- 6 補導援護又は救護を必要とする事情及び保護観察対象者の意向等
- 7 補導援護又は救護の方針
- 8 補導援護若しくは救護の措置の対象者又はその扶養義務者の費用負担能力 □有 □無
- 9 面接の日 年 月 日
- 10 参考事項

調査者	年	月	日	保護観察官	印
年 月 日 選定				保護観察所長	

上記の者の補導援護又は救護について、下記の措置を選定する。

- 委託する補導援護又は救護の措置 委託先()
(更生保護施設)
- 補導援護(一般) 日間(~) 宿泊 日間(~)
 補導援護(薬物依存回復訓練) 日間(~)
 食事付宿泊 日間(~)
- (更生保護施設以外)
- 補導援護(自立準備支援) 日間(~) 補導援護(職業訓練) 日間(~)
 補導援護(薬物依存回復訓練) 日間(~)
 宿泊 日間(~) 食事給与 日間(~)
- 自序での救護の措置
- 宿泊 日間(~)
 食事付宿泊 日間(~)
 食事給与 (円)(食分)
 帰住援助 (旅費給与 円)(割引証交付 片道・往復・無)(線 駅まで)
 金品の給与・貸与 ()
 その他()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

記載要領

- 1 「6 補導援護又は救護を必要とする事情及び保護観察対象者の意向等」欄には、調査時における所持金についても調査の上、適宜記載すること。
- 2 「10 参考事項」欄には、活用できる社会資源その他参考となる事項を記載するほか、過去に補導援護の措置の委託又は救護を行った場合には、その内容を記載すること。

保 護 經 過 一 覧 表

氏名 ()

事件番号 () -

(用紙 日本工業規格 A4)

記載要領

- 1 実施する措置を選定したときは、その内容を記載すること。
 - 2 選定した措置の内容に応じ、「補導援護（一般）」を「補導援護（自立準備支援）」、「更生緊急保護（その他）」又は「更生緊急保護（自立準備支援）」と、「食事付宿泊」を「食事給与」と書き換えること。
 - 3 補導援護（一般）欄には、法第58条各号に掲げる方法による補導援護の措置のうち、規則第56条第2項の規定による職業訓練及び規則第57条の規定による生活指導として行う薬物依存回復訓練を除いたものについて記載すること。
 - 4 補導援護（職業訓練又は薬物依存回復訓練）を委託したとき、宿泊の供与又は食事付宿泊の供与を自庁で行ったとき及び保護観察対象者又は更生緊急保護の対象となる者の状況等に特記すべき事項があるときは「特記事項」欄にその旨を記載すること。
 - 5 委託先若しくは委託内容の変更又は委託の解除を行ったときは、その年月日及び内容を「特記事項」欄に記載すること。

委託内容変更書

年 月 日

保護観察所長

次の者について、委託した内容を、下記のとおり変更する。

1 氏名 (年 月 日生)

2 委託した日 年 月 日

3 受託者

4 変更後の委託内容

(更生保護施設)

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|---|-----|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 補導援護（一般） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 食事付宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（その他） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |

(更生保護施設以外)

- | | | | | | | | |
|---|-----|---|---|-----|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 補導援護（自立準備支援） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（職業訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 食事給与 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（自立準備支援） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ |) |

5 委託した内容を変更する理由その他参考事項

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

委託解除書

年 月 日

保護観察所長

次の者について、下記のとおり委託を解除する。

1 氏名 (年 月 日生)

2 委託した日 年 月 日

3 受託者

4 解除する委託の内容

(更生保護施設)

- | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---|-----|---|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 補導援護（一般） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 食事付宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（その他） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |

(更生保護施設以外)

- | | | | | | | | | |
|---|-----|---|---|-----|---|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> 補導援護（自立準備支援） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（職業訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 補導援護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 食事給与 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 宿泊 | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（自立準備支援） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |
| <input type="checkbox"/> 更生緊急保護（薬物依存回復訓練） | 日間(| ・ | ・ |)～(| ・ | ・ | ・ |) |

5 委託を解除する理由その他参考事項

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

保護者に対する措置検討票

保護観察所

保護観察官

印

1 事件番号 () -

2 氏名 (年 月 日生)

3 措置の対象とする保護者

- (1) 父 (氏名 :)
- (2) 母 (氏名 :)
- (3) その他 (続柄 : 氏名 :)

4 措置が必要な理由

(保護者に認められる問題の類型)

- (1) 規制薬物、アルコール等への依存
- (2) 暴力行為 (身体的・精神的・性的・その他 ())
- (3) 非行の助長・黙認・教唆
- (4) 保護観察対象者が遵守事項を遵守しなかったことの隠ぺい等
- (5) 家族関係の問題
- (6) その他

(問題の具体的な内容)

5 指導又は助言の内容

6 実施方法等

(注意) 事例に応じ該当する番号に○印を付すこと。

(用紙 日本工業規格 A 4)

手 錠 使 用 簿

進行番号	事件番号 氏 名	使用事由	使用者の氏名	使 用 日 時	備 考
	() -	<input type="checkbox"/> 引致 <input type="checkbox"/> 留置		年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで	
	() -	<input type="checkbox"/> 引致 <input type="checkbox"/> 留置		年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで	
	() -	<input type="checkbox"/> 引致 <input type="checkbox"/> 留置		年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで	
	() -	<input type="checkbox"/> 引致 <input type="checkbox"/> 留置		年 月 日 午 時 分から 午 時 分まで	

(用紙 日本工業規格 A 4)

記載要領

- 実際に手錠を使用した場合に登載し、その使用日時を記載すること。
- 手錠の保管者は、手錠の使用について適正に許可を得たこと、使用後確実に返却されたことを確認の上、「備考」欄に押印すること。

警告書の受領書

年 月 日

保護観察所長 殿

住 居

氏 名

印

私は、本日、保護観察官から 年 月 日付けの警告書を受け取りました。

その際、保護観察官から、守らなかったと認めた遵守事項の内容、今後3月間（保護観察期間満了まで3月間に満たない場合は、その期間満了日まで）を特別観察期間とすること、今後警告書に示された遵守事項を守らなかったときは、保護観察所長が家庭裁判所に対し、少年院、児童自立支援施設又は児童養護施設送致の決定を申請する場合があること及びこの申請を行った場合、これらの施設に送致されることがあることについて、説明を受け、よく分かりました。

特別観察期間通知書

年 月 日

殿

保護観察所長

本日から 年 月 日までの3月間を「特別観察期間」とします。この期間中は、あなたが、警告書（ 年 月 日付け）に示した遵守事項を守り、健全な生活態度を保持することができるよう、通常の保護観察に加え、保護観察官が定期的に面接を行うなどの指導監督を行います。

この特別観察期間は、遵守事項を守っているかどうかの状況などにより、延長することがあります。

なお、今後、警告書に示した遵守事項を守らなかった場合は、家庭裁判所に対し、少年院、児童自立支援施設又は児童養護施設送致の決定を申請することができ、この申請を行った場合、これらの施設に送致されることがありますので、警告書に示した遵守事項を守るようにしてください。

【特別観察期間中の指示】

主任官（ ）

（用紙 日本工業規格 A4）

記載要領 保護観察期間の満了まで3月間に満たない場合は、本文中「の3月間」及び「この特別観察期間は」で始まる一文を削除すること。

特別観察期間延長通知書

年 月 日

殿

保護観察所長

あなたの「特別観察期間」(年 月 日から 年 月 日までの間延長します。
月 日まで)を、 年 月 日までの間延長します。

この特別観察期間は、遵守事項を守っているかどうかの状況などにより、更に延長することがあります。

なお、今後、警告書に示した遵守事項を守らなかった場合は、家庭裁判所に對し、少年院、児童自立支援施設又は児童養護施設送致の決定を申請することがあり、この申請を行った場合、これらの施設に送致されることがありますので、警告書に示した遵守事項を守るようにしてください。

【特別観察期間中の指示】

主任官()

(用紙 日本工業規格 A 4)

記載要領 保護観察期間の満了まで3月間に満たない場合は、本文中「この特別観察期間は」で始まる一文を削除すること。

留置手続書

年 月 日

地方更生保護委員会第 部

部長 委員

印

委員

印

委員

印

保護観察所 長

印

更生保護法第 73 条第 1 項・更生保護法第 76 条第 1 項・更生保護法第 80 条第 1 項・
売春防止法第 27 条第 2 項 の規定により、引致状により引致された次の者を留置する。

1 氏名等

氏名 (年 月 日生)
本籍
住居

2 引致に関する事項

引致の年月日時 年 月 日午 時 分
引致された場所

3 留置すべき施設

(留置する旨の判断をした年月日時)

年 月 日午 時 分

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。

(用紙 日本工業規格 A4)

留置する施設の変更手続書

年 月 日

地方更生保護委員会第 部

部長	委 員	印
委 員		印
委 員		印
保 護 観 察 所	長	印

次の者について、留置する施設を下記のとおり変更する。

1 氏名等

氏 名 (年 月 日生)
本 籍

2 変更前の留置する施設

3 変更後の留置する施設

4 変更の理由

5 参考事項

(注意) 1 事例に応じ不要の文字を削ること。

2 戻し収容の申請を受けた家庭裁判所、刑の執行猶予の言渡しの取消しの申出を受けた検察官又は刑の執行猶予の言渡しの取消請求を受けた裁判所の意見を求めた場合には、その旨を「5 参考事項」欄に記載すること。

釈放手続書

年 月 日

地方更生保護委員会第 部

部長 委員	印
委員	印
委員	印
保 護 観 察 所 長	印

次の者について、下記の留置を解き、釈放する。

1 氏名等

氏名 (年 月 日生)
本籍

2 留置する旨の判断をした年月日時

3 留置している施設

4 留置の必要がなくなったと認める理由

5 参考事項

(注意) 1 事例に応じ不要の文字を削ること。

2 戻し収容の申請を受けた家庭裁判所、刑の執行猶予の言渡しの取消しの申出を受けた検察官又は刑の執行猶予の言渡しの取消請求を受けた裁判所の意見を求めた場合には、その旨を「5 参考事項」欄に記載すること。

戻し収容の申請の結果に関する通知書

年 月 日

地方更生保護委員会 殿
保 護 觀 察 所 長 殿
(支部)

地方更生保護委員会

戻し収容の申出がなされた次の者について、下記のとおり家庭裁判所から戻し収容の申請に対する決定の通知を受けたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 家庭裁判所の決定に関する事項

決定裁判所	家庭裁判所	支部
決定の日	年	月
決定内容		日
理 由		

3 参考事項

(注意) 戻し収容の申出を受け留置していた場合には、留置を終了した日を「3 参考事項」欄に記載すること。

保護観察停止についての通知書

年 月 日

保護司

殿

保護観察所長

貴職が保護観察を担当している次の者について、下記のとおり保護観察の停止の決定がなされたので、通知します。

1 氏名 (年 月 日生)

2 保護観察の停止に関する事項

決定委員会 地方更生保護委員会
決定の日 年 月 日

3 参考事項

(用紙類) 所在調査経過報告書

(注意事項)

- 1 上記の者に対する保護観察が停止されたので、仮釈放期間満了日(年 月 日)が到来しても、保護観察は終了しません。
- 2 上記の者の所在が判明し、保護観察の停止が解かれた場合には、保護観察が再開されます。
- 3 保護観察が停止されている間は、引受人、家族その他の関係人に対し、必要な情報の提供を求めるなどして所在の調査に努め、その結果を所在調査経過報告書に記載して、翌月 5 日までに提出してください。
- 5 上記の者の所在の判明に結びつく事実等を把握したときは、直ちに、電話等の適宜の方法により保護観察所に連絡してください。

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すこと。

(用紙 日本工業規格 A 4)

保護観察停止解除・取消しについての通知書

年 月 日

保 護 司 殿

保 護 観 察 所 長

貴職が保護観察を担当している次の者について、下記のとおり 保護観察の停止を解く・
保護観察の停止を取り消す 旨の決定がありましたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 保護観察の停止の解除・取消しに関する事項

決定委員会 地方更生保護委員会
決定の日 年 月 日

3 保護観察の停止の解除の理由又は取消しの事由

4 参考事項

保護観察の停止の解除後の仮釈放期間満了日 年 月 日

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

一時解除・仮解除中の状況の調査依頼書

年 月 日

保 護 司 殿

保 護 観 察 所 長

現在 一時解除・仮解除 中の次の者について、その生活状況等を調査の上、一時解除・
仮解除中の状況の調査結果報告書により報告願います。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 住 居

3 一時解除又は仮解除の日 年 月 日

4 参考事項

主 任 官 ()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削ること。

別紙様式 5 4

	提出年月日	保護区	保 護 司
	年 月 日		印

一時解除・仮解除中の状況の調査結果報告書

氏 名			面接等の日	年 月 日	
住 所					
心身の状況	<input type="checkbox"/> 健康 <input type="checkbox"/> 疾病	(疾病の場合の病名・病状)			
家庭環境	(家族構成の変動の有無等)				
	(折合い) <input type="checkbox"/> 和 <input type="checkbox"/> やや不和 <input type="checkbox"/> 不和 (生計) <input type="checkbox"/> 富裕 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 貧困				
	(特記事項)				
交友関係	(友人の氏名、友人との関係、交友状況等)				
就学状況	学校	年在学	<input type="checkbox"/> 欠席なし	<input type="checkbox"/> 時々欠席	<input type="checkbox"/> 長期欠席
	(特記事項)				
就業状況	(勤務先名)		(職種)		
	(所在地)		電話 ()		
	(就業形態) <input type="checkbox"/> 通勤 <input type="checkbox"/> 住込み <input type="checkbox"/> 家業				
	(収入) 円		(稼働日数) 日/月		
	(就業状況) <input type="checkbox"/> 勤勉 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 怠惰		(保護観察の秘匿) <input type="checkbox"/> 要 <input type="checkbox"/> 否		
(特記事項)					
遵守事項の遵守状況・参考事項	<input type="checkbox"/> 守っている <input type="checkbox"/> 守っていない				
調査者の意見	(再び保護観察を行う必要があるかどうか) <input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない (理由)				
※主任官の判断とするべき措置	<input type="checkbox"/> 保護観察の解除 <input type="checkbox"/> 再度の一時解除 <input type="checkbox"/> 一時解除の取消し <input type="checkbox"/> 仮解除の継続 <input type="checkbox"/> 仮解除の取消し				

(注意) 1 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどしてください

- 2 各欄には、調査を行った時点の状況等を記載するほか、一時解除、仮解除又は前回の調査以後、特記すべき事項がある場合には、該当する欄に併せて記載してください。
- 3 ※欄は、保護観察所が記載する欄です。

保護観察一時解除終了についての通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

貴職が担当している次の者について、下記のとおり保護観察の一時解除を終了し、保護観察を再開したので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 保護観察一時解除の終了の日 年 月 日

3 保護観察一時解除の終了の事由

- 一時解除の取消し
- 一時解除の期間の満了

4 参考事項

(添付書類) 保護観察一時解除取消通知書 保護観察事件調査票
遵守事項通知書 生活行動指針通知書
その他 ()

(注意事項)

- 1 保護観察が再開されたので、保護観察経過報告書を毎月提出してください。
- 2 上記の者に対し、次の事項について説示してください。
 - (1) 保護観察の一時解除が終了し、保護観察が再開されたこと。
 - (2) 遵守事項を遵守すること。
- 3 上記の者に対し、保護観察一時解除取消通知書を交付してください。

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□に印を付すこと。

(用紙 日本工業規格 A4)

仮解除についての通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

貴職が担当している次の者について、下記のとおり保護観察の仮解除の決定がなされたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 仮解除に関する事項

決定委員会 地方更生保護委員会

決定の日 年 月 日

3 参考事項

(添付書類) 決定書の謄本 仮解除期間における遵守事項通知書
 その他 ()
(用紙類) 受領書(甲)

(注意事項)

- 1 上記の者に対し、仮解除の決定書の謄本を交付した上、受領書(甲)を徴し、当庁にて送付してください。
- 2 上記の者に対し、以下の事項について説示してください。
 - (1) 保護観察は仮解除されたが、終了はしていないので、仮解除の期間中、再び保護観察を実施する必要があると認められるときは、仮解除が取り消され、再び保護観察が実施されること。
 - (2) 更生保護法第81条第3項の規定に基づき、一般遵守事項のうち、次の事項を引き続き遵守しなければならないこと。
 - ア 再び犯罪をすることがないよう、健全な生活態度を保持すること。
 - イ 保護観察官又は保護司の呼出し又は訪問を受けたときは、これに応じ、面接を受けること。
 - ウ 保護観察所の長に届け出た住居（転居の許可を受けた場合には当該許可に係る住居）に居住すること。
 - エ 転居をするときは、あらかじめ、保護観察所の長の許可を受けること。
 - (3) 更生保護法第81条第4項の規定に基づき、保護観察が仮解除されたことにより、特別遵守事項は取り消されたとみなされること。
 - (4) 規則第55条第4項の規定に基づき、保護観察が仮に解除されたことにより、生活行動指針も取り消されたとみなされること。
- 3 仮解除の期間中、保護観察経過報告書を提出する必要はありませんが、上記の者に事故（無断転居、所在不明、再犯等）が生じた場合には、直ちに事故報告書又は電話等で報告してください。
また、再び保護観察を行う必要があると認められるときは、その旨を速やかに電話等で連絡してください。
- 4 仮解除の期間中は、当初は3月後に、その後はおおむね6月ごとに、上記の者の生活状況等の調査を依頼することとなります。

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すなどすること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

仮解除取消しについての通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

貴職が担当している次の者について、下記のとおり保護観察の仮解除取消しが決定され、保護観察を再開するので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 仮解除取消しに関する事項

決定委員会 地方更生保護委員会
決定の日 年 月 日

3 仮解除取消しの理由

4 参考事項

(添付書類) 決定書の謄本 保護観察事件調査票
 遵守事項通知書 生活行動指針通知書
 その他 ()
(用紙類) 受領書(甲)

(注意事項)

- 保護観察の仮解除取消しの決定は、保護観察付執行猶予者に決定が告知（決定書の謄本が交付された場合等）されることにより、効力が生じます。
保護観察は、当該効力が生じた後に、再開することとなります。
- 上記の者に対し、仮解除取消しの決定書の謄本を交付する場合には、同謄本を受領した旨について受領書（甲）を徴し、当庁あて送付してください。
- 上記の者に対し、次の事項について説示してください。
 - 保護観察の仮解除が取り消され、保護観察が再開されること。
 - 遵守事項を遵守すること。
- 保護観察の再開後は、保護観察経過報告書を毎月提出してください。

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

保護観察担当終了通知書

年 月 日

保 護 司 殿

保 護 観 察 所 長

次の者に対する保護観察について、貴職の担当は下記の事由により終了しましたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 担当終了の日 年 月 日

3 担当終了の事由

- 保護観察の解除
- 退院
- 戻し収容
- 保護処分の取消し
- 不定期刑の終了
- 仮釈放の取消し
- 刑の執行猶予の言渡しの取消し
- 婦人補導院からの仮退院の取消し
- 移送 (移送先 保護観察所)
- 担当変更
- その他 ()

4 参考事項

(注意事項) 上記の者に関する関係書類は、当庁に返還してください。

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。

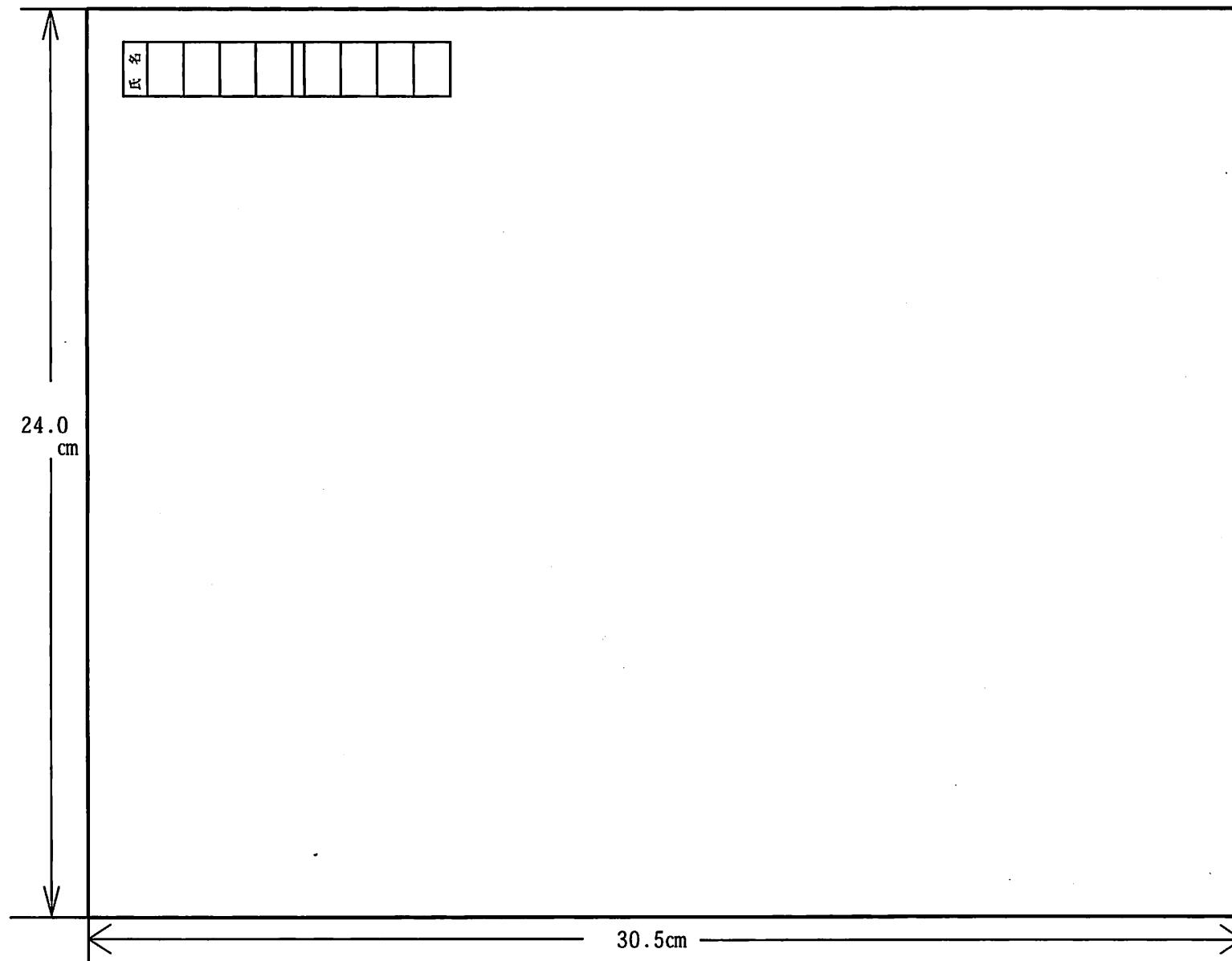
(用紙 日本工業規格 A 4)

生活環境調整事件ホルダー

(外側上)

↑ 24.0 cm	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: right;"> <tr> <td style="width: 10%;">終結年次</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">生</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>事件番号</td> <td>() -</td> <td>開始日</td> <td></td> <td>法定期間 の末日</td> <td></td> <td>終結日</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ふりがな 氏名</td> <td colspan="3" rowspan="2"></td> <td>刑期終了日 又 は 期間満了日</td> <td></td> <td rowspan="2">終 結 事 由</td> <td>仮釈放等 刑の執行終了 帰住予定地変更 その他()</td> </tr> <tr> <td>前 件 記 録</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生年月日</td> <td colspan="3">年 月 日</td> <td></td> <td></td> <td>備 考</td> <td></td> </tr> <tr> <td>保護区</td> <td colspan="3"></td> <td>開始事由</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" rowspan="2">開始・担当指名日</td> <td rowspan="2">生活環境調整 主任官</td> <td rowspan="2">生活環境調整 担当保護司</td> <td colspan="4">開始・担当指名</td> <td colspan="4">終 結</td> </tr> <tr> <td>所長</td> <td>統括</td> <td>主任官</td> <td>入力者</td> <td>所長</td> <td>統括</td> <td>主任官</td> <td>入力者</td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td> </td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>姓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </td> <td colspan="4"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>継報年次</td> <td></td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td colspan="8" style="text-align: center;">30.5cm</td> </tr> </table>								終結年次								事件番号	() -	開始日		法定期間 の末日		終結日		ふりがな 氏名				刑期終了日 又 は 期間満了日		終 結 事 由	仮釈放等 刑の執行終了 帰住予定地変更 その他()	前 件 記 録		生年月日	年 月 日					備 考		保護区				開始事由				開始・担当指名日		生活環境調整 主任官	生活環境調整 担当保護司	開始・担当指名				終 結				所長	統括	主任官	入力者	所長	統括	主任官	入力者																																									<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>姓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				姓								<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>継報年次</td> <td></td> </tr> </table>				継報年次		30.5cm							
終結年次																																																																																																																																								
事件番号	() -	開始日		法定期間 の末日		終結日																																																																																																																																		
ふりがな 氏名				刑期終了日 又 は 期間満了日		終 結 事 由	仮釈放等 刑の執行終了 帰住予定地変更 その他()																																																																																																																																	
				前 件 記 録																																																																																																																																				
生年月日	年 月 日					備 考																																																																																																																																		
保護区				開始事由																																																																																																																																				
開始・担当指名日		生活環境調整 主任官	生活環境調整 担当保護司	開始・担当指名				終 結																																																																																																																																
				所長	統括	主任官	入力者	所長	統括	主任官	入力者																																																																																																																													
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>姓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				姓								<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>継報年次</td> <td></td> </tr> </table>				継報年次																																																																																																																								
姓																																																																																																																																								
継報年次																																																																																																																																								
30.5cm																																																																																																																																								

(外側下)



生活環境調整事件カード

(表)

事件番号	()						
開始日			矯正施設名				
ふりがな 氏名			地方委員会				
生年月日	年	月	日	法定期間 の末日	刑期 期間	終了日	
生活環境調整担当保護司	担当期間		罪名				
	..	~	..				
	..	~	..				
	..	~	..				
受理日	報告要旨見 所	追報予定期 年月	摘要	刑名・刑期			
..		.	km	受理日	報告要旨見 所	追報予定期 年月	摘要
..		
..		
..		

(裏)

終結日	..	受理日	報告要旨見 所	追報予定期 年月	摘要
終結事由	1 執行停止 3月を経過	..		.	
	2 収容中の者でなくなつたとき 仮釈放等 刑執行終了 退院 保護処分取消 補導処分失効 恩赦 逃走 死亡 その他()	..		.	
	3 帰住予定地変更	..		.	
		..		.	
		..		.	
		..		.	
備考	..		.		
	..		.		
	..		.		
	..		.		
	..		.		
	..		.		

生活環境調整の計画

氏 名 (年 月 日生)

1 生活環境の調整事項、調整の方針及び調整に要する見込み期間

2 生活環境の調整を行うに当たり配慮を要する事項

3 保護観察所において行う調査等

- 刑事事件記録の閲覧等
- 判決謄本等の送付依頼
- 前科の照会 (□生活環境調整対象者 引受人)
- 戸籍謄本等の送付依頼 (□生活環境調整対象者 引受人)
- 暴力団関係照会 (□生活環境調整対象者 引受人)
- その他 ()

4 参考事項

- (1) 今後の追報告の予定時期 年 月
- (2)

作 成 者 年 月 日 保護観察官 印

記載要領

- 1 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。
- 2 「1 生活環境の調整事項、調整の方針及び調整に要する見込み期間」欄には、関係記録の内容を踏まえ、生活環境の調整が必要な事項のうち特に留意して実施すべき事項について、その実施上の問題点と方針を具体的に記載すること。また、調整事項ごとに調整に要すると見込まれる期間を記載すること。
- 3 「2 生活環境の調整を行うに当たり配慮を要する事項」欄には、引受人との接触等に当たって配慮すべき事項を具体的に記載すること。
- 4 「3 保護観察所において行う調査等」欄は、生活環境の調整の実施に当たって、保護観察所において関係機関等に照会等を行う必要がある事項について記載すること。

生活環境調整担当通知書

年 月 日

保護司

殿

保護観察所長

次の者について、生活環境の調整を担当していただくこととしましたので、通知します。
ついては、生活環境調整報告書を 年 月 日ころまでに提出してください。

氏名

(年 月 日生)

生活環境調整の計画

1 生活環境の調整事項、調整の方針及び調整に要する見込み期間

2 生活環境の調整を行うに当たり配慮を要する事項

3 保護観察所において行う調査等

刑事事件記録の閲覧等

判決謄本等の送付依頼

前科の照会 (生活環境調整対象者 引受人)

戸籍謄本等の送付依頼 (生活環境調整対象者 引受人)

暴力団関係照会 (生活環境調整対象者 引受人)

その他 (

)

4 参考事項

(1) 今後の追報告の予定期間 年 月

(2)

(注意事項)

- 上記の計画に基づき、生活環境の調整を行ってください。
- 報告書の提出期限までに報告できない場合には、適宜の方法により生活環境調整主任官に連絡してください。
- 仮釈放とならずに刑の執行が終了したときは、担当終了の通知書は送付されませんが、担当は終了しますので、関係書類を返還願います。

生活環境調整主任官 ()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

記載要領

- 1 「1 生活環境の調整事項、調整の方針及び調整に要する見込み期間」欄には、関係記録の内容を踏まえ、生活環境の調整が必要な事項のうち特に留意して実施すべき事項について、その実施上の問題点と方針を具体的に記載すること。また、調整事項ごとに調整に要すると見込まれる期間を記載すること。
- 2 「2 生活環境の調整を行うに当たり配慮を要する事項」欄には、引受人との接触等に当たって配慮すべき事項を具体的に記載すること。
- 3 「3 保護観察所において行う調査等」欄は、生活環境の調整の実施に当たって、保護観察所において関係機関等に照会等を行う必要がある事項について記載すること。
- 4 裁判確定前の生活環境調整の担当を通知する場合は、本文中「生活環境調整報告書」は「裁判確定前の生活環境調整結果報告書」と書き換えること。

生活環境調整追報告依頼書

年 月 日

保護司 殿

保護観察所長

次の者の生活環境の調整について、生活環境調整追報告書を 年 月
日ころまでに提出してください。

1 氏名 (年 月 日生)

2 連絡事項

3 参考事項

(1) 前回報告時の所長意見 帰住可 帰住不可 調整継続 非該当

(2) 今後の追報告の予定期 年 月

(3)

(注意事項) 上記の期限までに報告できない場合には、適宜の方法により生活環境調整主任官に連絡してください。

生活環境調整主任官 ()

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

生活環境調整担当終了通知書

年 月 日

保 護 司 殿

保 護 観 察 所 長

次の者の生活環境の調整について、貴職の担当は下記の事由により終了しましたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 担当終了の日 年 月 日

3 担当終了の事由

帰住予定地の変更 (へ変更)

担当変更

その他 ()

4 参考事項

(注意事項) 上記の者に関する関係書類は、当庁に返還してください。

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

裁判確定前の生活環境調整事件票

氏名等

ふりがな(通称・別名)

氏名	(年	月	日生)	男・女
本籍					
住居					
学籍・職業	無職・学生等・有職(職種)			電話	()

裁判に関する事項

言渡し裁判所	裁判所	支部			
言渡しの日	年	月	日		
確定の日	年	月	日		
刑名・刑期	懲役・禁錮	年	月	執行猶予	年

犯罪に関する事項

罪名
犯罪の概要

動機・原因

共犯者の状況

被害者等の心身の状況、生活状況、被害に関する心情、被害者等に対する謝罪・被害弁償又は示談の状況その他参考事項

交友関係

家族その他の関係人の状況・家庭環境・居住地の生活環境

性格、心身の状況等

生活歴

就業又は就学状況

生活の計画、その他参考事項

生活環境調整の計画

作成者

年 月 日

保護観察官

印

記載要領

- 1 事例に応じ不要の文字を削ること。
- 2 「氏名等」欄
「ふりがな」には、通称・別名がある場合は（　）書きで付記すること。
「学籍・職業」には、無職、学生等（生徒を含む。）、有職の別を○で囲むなどし、有職の場合は（　）内に職種を記載すること。
- 3 「犯罪に関する事項」欄
「被害者等の心身の状況、生活状況、被害に関する心情、被害者等に対する謝罪・被害弁償又は示談の状況その他参考事項」には、被害者（犯罪により被害者が死亡し、又はその心身に重大な故障があることを把握している場合には、その遺族及び法定代理人等を含む。）の氏名・住所・連絡先を記載するほか、「心身の状況」については、通院状況及び精神的被害の状況（犯罪に起因する心的外傷後ストレス障害（P T S D）の発症その他の精神的影響の内容）を、「生活状況」については、就業先又は通学先（今後就業又は通学予定がある場合にはその旨及び当該就業予定先又は通学予定先）及び犯罪がその後の生活に及ぼした支障の内容について知り得る範囲で、それぞれ記載すること。また、「その他参考事項」については、加害者に対する秘匿の有無等について知り得る範囲で記載すること。
- 4 「交友関係」欄
裁判確定前の保護観察付執行猶予者の改善更生に影響があると認められる交友、共犯者との交際、不良集団（暴力団、暴走族、地域不良集団等）との交際等、生活環境調整実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- 5 「家族その他の関係人の状況・家庭環境・居住地の生活環境」欄
家族その他の関係人について、住所、氏名、続柄、年齢、職業、性行、家族構成（同居人を含む。）等の必要な事項を記載するほか、生計状況、家族間の折り合い、裁判確定前の保護観察付執行猶予者の改善更生に対する理解・態度、地域環境等において、生活環境調整の実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- 6 「性格、心身の状況等」欄
各種心理テストの結果、専門家の診断及び面接によって判明した性格上の問題点、知的障害、精神障害、現在の健康状態、シンナー・覚せい剤等規制薬物使用状況等において、生活環境調整の実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- 7 「生活歴」欄
裁判確定前の保護観察付執行猶予者の生育歴、教育歴、職業歴、非行・犯罪・処分歴等の生活歴（取得した資格、運転免許等のほか、交通事件の場合は、交通事件違反歴及び本件による行政処分の状況を含む。）を簡潔に記載すること。
- 8 「就業又は就学状況」欄
学生等の場合は学校名及び学年、有職の場合は勤務先、収入、勤務状態等、生活環境調整の実施上問題となる事項を、簡潔に記載すること。
- 9 「生活の計画、その他参考事項」欄
就業又は就学に関する希望・見通し等今後の生活計画のほか、生活環境調整の実施上問題となる事項や裁判確定前の保護観察付執行猶予者の改善更生に影響があると認められる重要な事項を、簡潔に記載すること。
- 10 「生活環境調整の計画」欄
調整事項及び調整の方針、調整を行うに当たり配慮を要する事項、保護観察所において行う調整の内容等について記載すること。

別紙様式 6 6

	提出年月日	保護区	生活環境調整担当保護司
	年 月 日		印

裁判確定前の生活環境調整結果報告書

(注意) ※印欄は、保護観察所が記載する欄です。

裁判確定前の生活環境調整担当終了通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

次の者の裁判確定前の生活環境の調整について、貴職の担当は下記の事由により終了しましたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 担当終了の日 年 月 日

3 担当終了の事由

- 裁判の上訴
- 居住地の変更等
- 生活環境調整が行われることについての同意の撤回
- 担当変更
- その他()

4 参考事項

(注意事項) 上記の者に関する関係書類は、当庁に返還してください。

(注意) 事例に応じ、該当する□にレ印を付すなどすること。

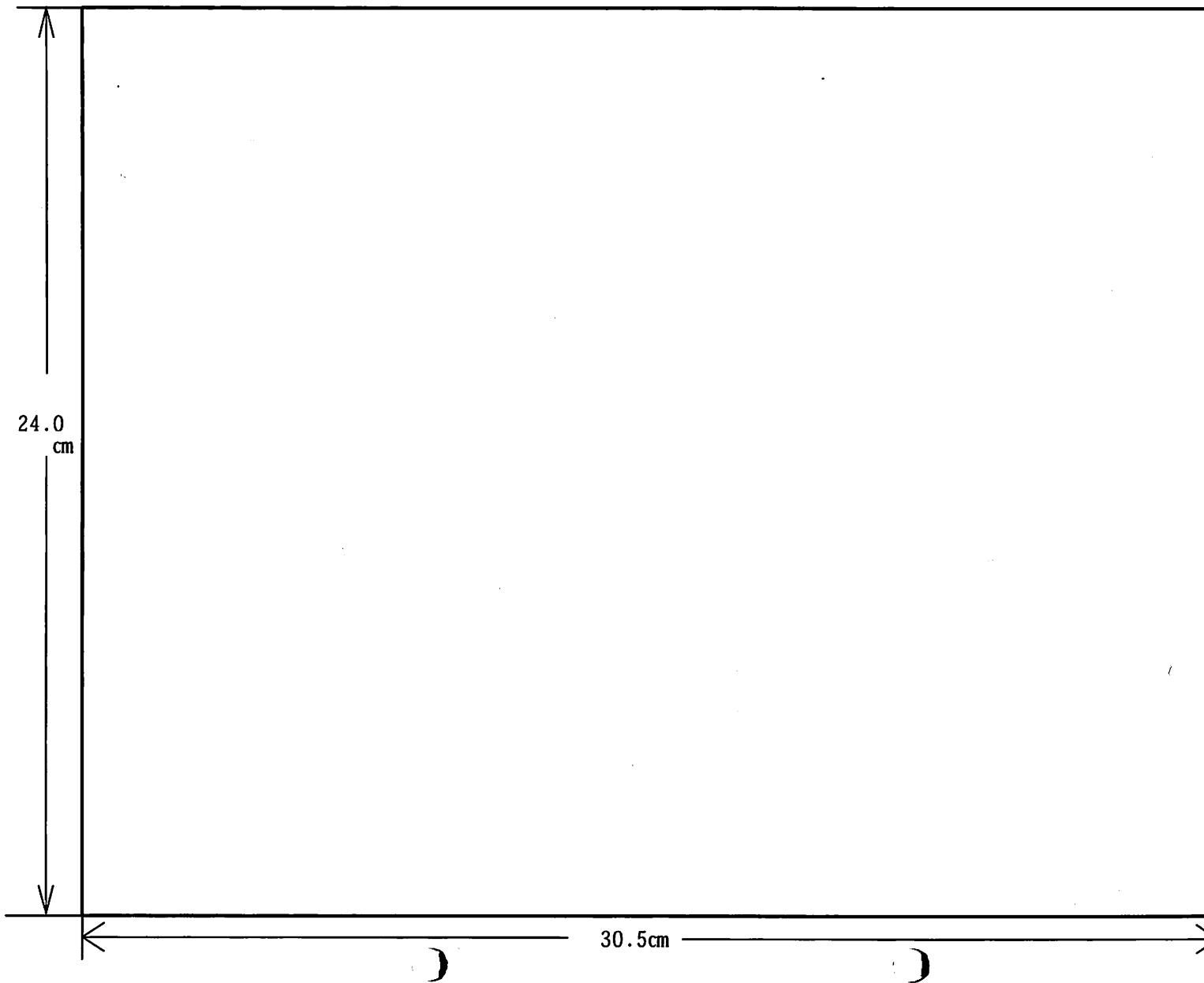
(用紙 日本工業規格 A 4)

更生緊急保護事件ホルダー

(外側上)

封締年次						
ふりがな				生年月日	年 月 日 (男・女)	
氏名						
事件番号	法定期間 満了日	保護観察官	委託先	記入		特記事項
受理日				事件簿	索引カード	
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
・						
(○)						
名						
氏						
年次 締結						

(外側下)



更生緊急保護事件票

1 氏名	(年	月	日生)	(歳)(男・女)		
2 本籍								
3 住居								
4 種別	(一)刑執行終了	(二)刑執行免除	(三)執行猶予確定前					
	(四)執行猶予確定後	(五)起訴猶予	(六)罰金・科料					
	(七)労役場	(八)退院・仮退院期間満了	(九)補導処分執行終了					
5 身体の拘束を解かれた日	年	月	日					
6 犯罪行為の表示								
7 犯数・刑名・刑期等	(初・累 勞役場 少年院在院期間	入)懲・禁・拘 日(罰・科 年 月	年 月	(執行猶予期間 年)				
		円)	罰金・科料	円				
8 処分(釈放)庁	()刑務所・拘置所・婦人補導院()支所							
	()裁判所・検察庁()支部							
	()少年院							
9 認定資料	(1)保護カード	(2)身上調査書	(3)裁判書	(4)その他()				
10 家庭環境、交友関係、親族の状況等								
11 更生緊急保護の対象となる者の性格、経歴、心身の状況、生活の能力、生活の計画等								
12 更生緊急保護を必要とする事情及びその対象となる者の意思								
13 保護の方針								
14 更生緊急保護の対象となる者又はその扶養義務者の費用負担能力	□有			□無				
15 面接の日	年	月	日					
16 参考事項								

調査者	年	月	日	保護観察官	印
-----	---	---	---	-------	---

年 月 日選定

保護観察所長

上記の者の更生緊急保護について、下記の措置を選定する。

- 委託する措置 委託先()
(更生保護施設)
- 宿泊 日間(. . ~ . .) 食事付宿泊 日間(. . ~ . .)
更生緊急保護(その他) 日間(. . ~ . .)
更生緊急保護(薬物依存回復訓練) 日間(. . ~ . .)
- (更生保護施設以外)
- 宿泊 日間(. . ~ . .) 食事給与 日間(. . ~ . .)
更生緊急保護(自立準備支援) 日間(. . ~ . .)
更生緊急保護(薬物依存回復訓練) 日間(. . ~ . .)
- 自庁でとる措置
- 食事付宿泊 日間(. . ~ . .)
宿泊 日間(. . ~ . .)
食事給与 (円)(食分)
帰住援助 (旅費給与 円)(割引証交付 片道・往復・無)(線 駅まで)
金品の給与・貸与()
その他()
- 措置しない

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する項目に○印を、□にレ印を付すこと。

記載要領

- 1 法第85条第4項本文に規定する期間内に再度の更生緊急保護の申出があり、更生緊急保護の措置を委託せず、記載すべき事項に変動がない場合には、「2 本籍」欄から「9 認定資料」欄までは記載を要しない。
- 2 「8 処分（釈放）庁」は以下により記載すること。
 - (1) 法第85条第1項第1号、第2号、第7号又は第8号に規定する者にあっては、身体の拘束を解かれた時点において収容されていた矯正施設の名称
 - (2) 同項第3号、第4号又は第6号に規定する者にあっては、当該言渡しをした裁判所の名称
 - (3) 同項第5号に規定する者にあっては、当該処分をした検察庁の名称
- 3 「12 更生緊急保護を必要とする事情及びその対象となる者の意思」欄には、調査時における所持金についても調査の上、適宜記載すること。
- 4 更生緊急保護（その他）の措置を委託して実施するときは、「12 保護の方針」欄に、更生緊急保護（その他）の具体的な方針等を記載すること。
- 5 「16 参考事項」欄には、活用できる社会資源、その他参考となる事項を記載するほか、過去に更生緊急保護等の措置を行った場合には、その内容を記載すること。
- 6 「委託する措置」の「更生緊急保護（その他）」欄には、法第85条第1項に掲げる更生緊急保護の措置のうち、規則第116条の規定による措置を除いたものを記載すること。
- 7 「自庁でとる措置」の「その他」欄には、医療若しくは療養の援助、就職の援助、教養訓練の援助、職業に関する補導、生活指導又は生活環境の調整等その内容を簡潔に記載すること。

刑の執行停止中の措置事件票

氏名等

氏名 (年 月 日生)
本籍
住居
職業

裁判に関する事項

言渡し裁判所 裁判所 支部
言渡しの日 年 月 日
確定の日 年 月 日
罪名
刑名・刑期 懲役・禁錮 年 月
刑期起算日 年 月 日

刑の執行停止に関する事項

執行停止の日 年 月 日
執行停止の事由

検察官の請求に関する事項

請求をした検察官 檢察庁 支部検察官
請求があった日 年 月 日

適当と認める指導監督、補導援護並びに応急の救護及びその援護の措置及びその方針

参考事項

作成者 年 月 日 保護観察官 印

刑の執行停止中の措置事件担当通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

刑の執行を停止されている次の者について、検察官の請求に基づき、適當と認める措置をとることとし、貴職に担当していただくことにしましたので、通知します。

1 氏 名

(年 月 日生)

2 適當と認める措置

3 連絡事項

(添付書類) 刑の執行停止中の措置事件票

(用紙類) 刑の執行停止中の措置の経過報告書 事故報告書

(注意事項)

- 1 毎月の刑の執行停止中の措置の経過報告書は、翌月 5 日までに提出してください。
- 2 上記の者について事故（所在不明等）が生じた場合には、直ちに事故報告書又は電話等で報告してください。

取扱者 ()

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。

(用紙 日本工業規格 A 4)

別紙様式 7 2

	提出年月日	保護区	保護司
	年 月 日		印

刑の執行停止中の措置の経過報告書

(年 月分)

(注意) ※印欄は、保護観察所が記載する欄です。

(用紙 日本工業規格 A 4)

刑の執行停止中の措置事件担当終了通知書

年 月 日

保 護 司

殿

保 護 観 察 所 長

次の者に対する刑の執行停止中の措置について、貴職の担当は下記の事由により終了しましたので、通知します。

1 氏 名 (年 月 日生)

2 担当終了の日 年 月 日

3 担当終了の事由
刑の執行停止の取消し
担当変更
その他保護措置を不要とする事由 ()

4 参考事項

(注意事項) 上記の者に関する関係書類は、当庁に返還してください。

(注意) 事例に応じ該当する□にレ印を付すなどすること。

別紙様式 74

保護観察終結通知書（甲）

家庭裁判所

支部 殿

保護観察所長
年 月 分

進行番号	氏名 生年月日・性別	非行名	保護観察期間	終結の日 終結事由	備考
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	1
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	
	年 月 日 生 (男・女)		自至 ：　：	・　・	

(用紙 日本工業規格 A4)

記載要領

- 1 保護処分を決定した家庭裁判所ごとに別葉で作成すること。
- 2 「終結事由」欄には、解除、期間満了、死亡又は保護処分取消しと記載すること。
- 3 再非行等により保護処分が競合取消しとなった場合には、本件と競合する処分の決定（確定）日及びその内容を「備考」欄に記載すること。

保護観察終結通知書（乙）

年 月 日

家庭裁判所 支部 殿
少 年 院 長 殿

保護観察所長

次の者の保護観察の終結の状況等について、下記のとおり通知します。

1 氏名等

氏名 (年 月 日生)
仮退院施設
保護観察期間 年 月 日から 年 月 日まで

2 保護観察の終結時の状況等

保護観察終結日 年 月 日
保護観察終結事由 保護処分取消し 期間満了 死亡
就業状況

職種

就業形態 通勤 住込 家業
就業態度 勤勉 普通 怠惰

就学状況

学校名・学年

就学態度 勤勉 時々欠 長欠
家庭 和 やや不和 不和 非該当
交友 良 普通 不良

特別遵守事項

3 保護観察期間中の遵守事項の遵守の状況その他保護観察実施上の特記事項

4 参考事項

(注意) 事例に応じ不要の文字を削り、該当する□にレ印を付すこと。

(用紙 日本工業規格 A 4)

刑の時効完成による保護観察事件終結通知書

年 月 日

検察庁 支部検察官 殿

保護観察所長

次の者に対する保護観察事件は、刑の時効完成により下記のとおり終結したので、通知します。

1 氏名等 (年 月 日生)

氏名

本籍

居住すべき住居

2 裁判に関する事項

言渡し裁判所

裁判所 支部

言渡しの日

年 月 日

確定の日

年 月 日

罪名

刑名・刑期

懲役・禁錮 年 月

3 仮釈放に関する事項

決定委員会

地方更生保護委員会

決定の日

年 月 日

仮釈放施設

仮釈放の日

年 月 日

4 保護観察の停止に関する事項

決定委員会

地方更生保護委員会

決定の日

年 月 日

効力発生日

年 月 日

5 刑の時効完成の日

年 月 日

6 参考事項

保護観察の開始に当たって

地方更生保護委員会

あなたは、仮釈放を許す旨の決定を受け本日釈放されますが、仮釈放の期間中は保護観察に付されます。保護観察の開始に当たって、次の事項に注意してください。

- 1 保護観察の開始に当たり、あなたの保護観察を実施する保護観察所から、下記のとおり面接のための呼出しがされていますのでお知らせします。

呼出しの日：	平成	年	月	日（　）まで
保護観察所：	保護観察所（　　支部・駐在官事務所）			
電話番号	（　　）			
所在地	(別添地図参照)			

- 2 呼出しの日までに上記保護観察所に出頭しなかった場合には、遵守事項通知書記載の一般遵守事項 2 のイを守らなかったこととなり、再び矯正施設に収容されることがあります。
- 3 保護観察所では、保護観察期間中に守るべき遵守事項に関する説明や保護観察期間中の注意事項等について説明がありますので、呼び出された日までに必ず出頭してください。

作成要領 少年院仮退院者に交付するときは、「仮釈放」とあるのを「少年院からの仮退院」と、婦人補導院仮退院者に交付するときは、「仮釈放」を「婦人補導院からの仮退院」と修正すること。

保護観察状況等報告書（乙）

年 月 日

裁判所 支部 殿

保護観察所長

次の者の保護観察状況について、下記のとおり報告します。

1 氏名等

氏名 (年 月 日生)
住居

2 保護観察の期間等

保護観察期間 年 月 日から 年 月 日まで
主任官
担当保護司

3 特別遵守事項

4 生活行動指針

5 就業 (職業)

(就業状況) 勤勉・普通・怠惰 通勤・住込・家業

6 交友

良・普通・不良

7 家庭

和・やや和・やや不和・不和・不該当

8 生計

富裕・普通・貧困・極貧

9 保護観察の経過等（保護観察の実施過程で問題となった事項等）

10 参考事項

(1) 言渡し裁判官

(2) 言渡しの日 年 月 日

(3) 報告事由 開始後 6 月（経過・所在不明・再犯）・取消し・期間満了・死亡